



2024-2025年度
ライオンズクラブ国際協会
331-B地区
第71回
地区年次大会
2025年5月24日(土)





ライオンズクラブ国際協会331-B地区

第71回 地区年次大会 北見

地区ガバナーズローガン

明るく、楽しい、ライオンズ

2025年5月24日(土)

北見キャビネット・ホストクラブ

北見ライオンズクラブ
網走ライオンズクラブ
北見中央ライオンズクラブ
網走桂ライオンズクラブ
北見白樺ライオンズクラブ
紋別オホーツクライオンズクラブ
端野ライオンズクラブ



2024-2025 ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区
北見キャビネット

国際会長 L. ファブリシオ・オリベイラ

国際テーマ

【 We Serve （われわれは奉仕する） 】

国際会長メッセージ

【 足 跡 を し る す 】

地区ガバナー L. 伊 東 隆 志

地区ガバナースローガン

【 明 る く、 楽 し い、 ラ イ オ ン ズ 】



北見キャビネット

シンボルマーク ◇ コンセプト

331-B 地区から、小さなハーブが芽生えました。

皆様にさわやかな風をお届けしたいと思います。



北見キャビネット

ピンバッチ ◇ コンセプト

オホーツクブルーの空の下、

きーたんがラグビーやっています。

ONE FOR ALL ALL FOR ONE



2024-2025 年度
ライオンズクラブ国際協会 331-B 地区

第71回地区年次大会要綱

開催地：北見市

開催日：2025年5月23日(金)・24日(土)

月 日	時 間	行 事 内 容		開 催 場 所	登録料
5月23日 (金)	10:00～	受付	記念 ゴルフ大会	北見ハープヒルゴルフクラブ 北見市川東724-1 TEL：0157-31-0109	5,000円
	11:30～	スタート			
		移 動			
	18:00～	受付	前夜祭 (焼肉 ゴルフ大会 表彰式)	北見中央公園	6,000円
	18:30～20:30	開宴			

月 日	時 間	行 事 内 容		開 催 場 所	登録料
5月24日 (土)	12:00～13:00	代 議 員 登 録 受 付		北見市民会館 北見市常盤町2丁目1-10 TEL：0157-23-6266	L/LL 5,000円
	12:15～12:45	資格審査・議事運営 指 名 選 挙 ・ 決 議 正 副 委 員 長 会 議			
	13:00～13:20	代 議 員 総 会			
	13:30～14:10	代 議 員 分 科 会			
	14:20～14:50	代 議 員 再 開 総 会			
	14:00～15:00	大 会 式 典 登 録 受 付			
	15:10～17:00	大 会 式 典			
	17:00～18:00	移 動			
18:00～20:00	開 宴	晩餐会	北海道立北見体育センター 北見市東陵町27番地 TEL：0157-23-3131	L/LL 15,000円	

ライオンズクラブ国際協会 331-B地区

第71回地区年次大会

プログラム

■日 時 2025年5月24日(土)
 ■会 場 北見市民会館
 ■受 付 14:00~15:00
 ■式 典 15:10~17:00
 ■総司会 L.松田佳陽
 山崎ひとみ

進 行 次 第

オープニング

1	開会宣言・開会ゴング	大 会 長	L. 伊 東 隆 志	
2	国歌・ライオンズクラブの歌斉唱			
3	物故会員追悼			
4	来賓紹介			
5	地区名誉顧問並びに地区役員紹介			
6	参加クラブ紹介			
7	式辞・年次報告	大 会 長	L. 伊 東 隆 志	
8	歓迎挨拶	大 会 委 員 長	L. 田 尾 忠 正	
9	祝辞	大 衆 議 院 議 員	武 部 新 様	
	祝辞	大 衆 議 院 議 員	川原田 英 様	
	祝辞	北 見 市 長	辻 直 孝 様	
10	祝電披露			
11	代議員総会決議事項発表	決 議 委 員 長	L. 村 山 聡	
12	大会記念アクティビティ発表	大 会 幹 事	L. 二 宮 雄 一	
13	三市とライオンズクラブとの「災害発生時における ボランティア活動支援に関する協定書」調印式	大 北 見 市 長	L. 伊 辻 東 隆 直 孝 様	
		大 網 走 市 長	水 谷 洋 一 様	
		大 紋 別 市 長	宮 川 良 隆 志	
14	前キャビネット三役へ感謝状贈呈	大 会 長	L. 伊 東 東 隆 志	
15	国際会長アワード	大 会 長	L. 伊 東 東 隆 志	
16	L C I Fアワード	大 会 長	L. 伊 東 東 隆 志	
17	ガバナーズアワード	大 会 長	L. 伊 東 東 隆 志	
18	永年功労特別賞発表			
19	大会委員長アワード	大 会 委 員 長	L. 田 尾 忠 正	
20	指名選挙委員会信任投票結果発表	指 名 選 挙 委 員 長	L. 喜 多 武 彦 志	
21	第二副地区ガバナーエレクト紹介	大 会 長	L. 伊 東 隆 志	
22	第二副地区ガバナーエレクト挨拶	第 二 副 地 区 ガ バ ナ ー エ レ ク ト	L.	
23	第一副地区ガバナーエレクト紹介	大 会 長	L. 伊 東 隆 志	
24	第一副地区ガバナーエレクト挨拶	第 一 副 地 区 ガ バ ナ ー エ レ ク ト	L.	
25	地区ガバナーエレクト入場			
26	地区ガバナーエレクト紹介	大 会 長	L. 伊 東 隆 志	
27	地区ガバナーエレクト挨拶	地 区 ガ バ ナ ー エ レ ク ト	L.	
28	ガバナーズキー贈呈	大 会 長	L. 伊 東 隆 志	
29	次期地区年次大会開催地・ホストLC発表	大 会 幹 事	L. 二 宮 雄 一	
30	次期地区年次大会開催地・挨拶	釧 路 市 長	鶴 間 秀 典 様	
31	次期地区年次大会・大会委員長挨拶	次 期 地 区 年 次 大 会 委 員 長	L. 高 瀬 力 巨	
32	ライオンズ・ローア	地 区 名 誉 顧 問 会 議 長	L. 中 谷 宣 隆	
33	閉会宣言・閉会ゴング	大 会 長	L. 伊 東 隆 志	

目 次

●ごあいさつ・祝辞

ご 挨 拶	地区ガバナー
歓迎の言葉	大会委員長
祝 辞	内閣総理大臣
祝 辞	北海道知事
祝 辞	北見市長
祝 辞	国際会長
祝 辞	元国際会長
祝 辞	国際理事
祝 辞	国際理事
祝 辞	MD331ガバナー協議会議長
祝 辞	L C I F 理事・元国際理事

L. 伊 東 隆 志	5
L. 田 尾 忠 正	6
石 破 茂 様	7
鈴 木 直 道 様	8
辻 直 孝 様	9
L. ファブリシオ・オリベイラ	10
L. 山 田 實 紘	11
L. 濱 野 雅 司	12
L. 城 阪 勝 喜	13
L. 諏 訪 昇 三	14
L. 鶴 嶋 浩 二	15

●ご来賓ご芳名	16
●キャビネット組織表	17
●キャビネット構成員	18
●地区年次大会組織表	23
●地区年次大会役員	24
●ガバナー年次報告	26
●代議員総会プログラム	35
●代議員総会運営委員会構成	36
●決議委員会・分科会構成	37
●地区年次大会議事規則	39
●代議員総会運営議案	41
●第1分科会審議事項・報告事項	44
第1分科会代議員名簿	56
●第2分科会報告事項	57
第2分科会代議員名簿	58
●第3分科会報告事項	59
第3分科会代議員名簿	60
●L C I F 拠出金一覧	61
●国際会長アワード	64
●ガバナーズアワード	66
●地区年次大会委員長アワード	68
●地区年次大会記念アクティビティ	68
●次期地区ガバナー立候補者経歴紹介	69
●次期第一副地区ガバナー立候補者経歴紹介	70
●次期第二副地区ガバナー立候補者経歴紹介	71
●国際理事立候補者経歴紹介	72
●物故会員ご芳名	74
●参加者名簿	75
●地区年次大会晩餐会プログラム	80

ご 挨拶 Greetings

ライオンズクラブ国際協会331-B地区ガバナー
第71回 地区年次大会長

L. 伊 東 隆 志



本日ここに「ライオンズクラブ国際協会331-B地区第71回地区年次大会」を開催するにあたり、ご挨拶を申し上げます。

オホーツクブルーと称される澄み切った青空のもと、広大な自然と美味しい食事が自慢の北見市にお集まりいただき、心より歓迎申し上げます。

日頃より、ご指導、ご支援をいただいておりますご来賓の皆様方におかれましては、ライオンズクラブの活動にご理解・ご協力を賜り、おかげ様で明るく・楽しく活動させていただいていることに、あらためてお礼を申し上げます。

我々ライオンズクラブのメンバーは、海岸や河川の清掃活動、交通安全啓発活動、各種青少年スポーツ大会開催などをはじめに、奉仕活動に汗を流しております。

地域における奉仕活動はもちろんのこと、世界におけるボランティア活動や災害支援なども『We Serve』奉仕の旗印のもとに励んでいるところであります。

これらの奉仕活動に対しまして、メンバーの皆様には感謝を申し上げますと共に、この第71回地区年次大会は、皆様方の功績を互いに讃えあう場でもありますから、この大会が友情と奉仕の輪を広げる新たなきっかけになることを願ってやみません。

最後になりますが、北見は、玉ねぎやハッカ、そして豊かな海産物など、北海道の魅力を存分に味わえるスポットが満載です。

ぜひ、北見市の魅力を存分に楽しんでください。

歓迎の言葉

ライオンズクラブ国際協会331-B地区
第71回 地区年次大会委員長

L. 田 尾 忠 正



本日、各方面のご来賓各位、331-B地区名誉顧問会のメンバーの皆様のご臨席を賜り、地区内のクラブより多数のライオン、ライオンパートナーのご出席をいただきました。皆様を今日ここにお迎え出来ますこと、心から嬉しく、厚くお礼申し上げます。

北見市は、屯田兵と土佐高知からの入植者によって開拓されました。その昔は、野付牛と言いました。野付牛はアイヌ語の「ヌプケシ」（野の末端）に由来するといわれております。町の発展とともに戦前の1942年に「市」となります。その際、北見国の中央に位置していたことから、北見市と命名されたと言われております。

日照時間が長く降水量の少ない北見は、玉葱の栽培に適した土地で、その生産量は全国一であります。戦前は世界の7割を生産したという「ハッカ」で栄えた地域でもあり、今も北見市のシンボルともなっております。また、昔から食肉加工工場が近くにあり、新鮮な肉やホルモンが手に入りやすかったことから、焼肉が盛んで人口一人当たりの店舗の多さは日本一とも言われております。

「明るく、楽しい、ライオンズ」の伊東地区ガバナーのスローガンのもと、キャビネットを担わせていただいてまいりました。ホストクラブをはじめ、331-B地区内のブラザークラブより力強いご支援をいただきましたこと、心から厚くお礼申し上げます。

今後ライオンズクラブがより発展をしてゆくこと、友愛と相互理解のもと会員の結びつきがより強固になり、社会奉仕に邁進できることを願っております。

結びに、本日ご臨席いただきましたご来賓の皆様、そして、ライオン、ライオンパートナーのご発展とご健勝を心からご祈念申し上げ、お礼と歓迎の言葉と致します。

御 祝 辞

内閣総理大臣

石破 茂



ライオンズクラブ国際協会の全国8複合地区並びに35準地区において、第71回年次大会が多くのメンバーの皆さまの御参加を得て、盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

結成以来、“We Serve”「我々は奉仕する」との理念の下、世界約200ヶ国で地域に根付いた社会奉仕活動を展開してこられた貴協会の活動に敬意を表します。昨年の能登半島地震からの復興にあたっては、全国各地のライオンズクラブの皆様から温かい御支援をいただきました。キッチンカーの派遣、避難所での炊き出し、各地での募金活動など、被災者の皆様に希望を届けたいとの思いで、お一人お一人が行動を起こしてくださいました。私の地元の鳥取市でも、寒い中街頭募金活動を行っていただいたと伺っています。改めて、御支援と御協力に感謝申し上げます。

我が国は、明治維新の中央集権国家体制において「強い日本」を目指し、戦後の復興や高度経済成長の下で「豊かな日本」を目指してまいりました。一方で、我が国は急速な人口減少に直面し、かつての活力を維持できなくなっています。今こそ、こうした状況を反転させ、活力を取り戻す必要があります。そのためには、「楽しい日本」すなわち、すべての人が安心と安全を感じ、自分の夢に挑戦し、「今日より明日は良くなる」と実感できる国とすることが不可欠です。その結果、多様な価値観を持つ一人一人が、互いに尊重し合い、自己実現を図っていただけるようになります。

その実現に向け、「地方創生2.0」を「令和の日本列島改造」として進め、これまで各地で生まれてきた優良事例を面的に広げ、地域から日本全体の活力を取り戻していきます。地域に根差した活動に長く取り組まれてきたライオンズクラブの皆様と心を合わせて、取り組んでいきたいと思っております。皆様の御協力をお願い申し上げます。

結びに、ライオンズクラブの益々の御発展、関係者の皆様の御多幸と御健勝を祈念申し上げ、私の御挨拶とさせていただきます。

祝 辞

北海道知事

鈴木 直 道



ライオンズクラブ国際協会331-B地区第71回地区年次大会が、北見市において開催されますことを心からお喜び申し上げます。

伊東ガバナーをはじめ、会員の皆様におかれましては、「明るく、楽しい、ライオンズ」のガバナースローガンのもと、スポーツ大会や薬物乱用防止教室の開催など青少年の健全育成に向けた取組をはじめ、植樹などの環境保全活動、交通安全の街頭啓発、献血の推進、障がい者施設への支援など、幅広い奉仕活動を通じて、地域の発展に多大なるご尽力をいただいていることに、深く敬意を表します。

本道では、人口減少や少子高齢化により、地域を支える担い手不足が深刻化し、長引く物価高騰が、道民の皆様の生活や事業者の方々の経営に大きな影響を及ぼしています。また、全国各地で大規模な自然災害が相次いでおり、いつどこで発生するか分からない災害に対し、備えを万全のものとしていかなければなりません。

地域が様々な課題や困難に直面する中、貴クラブの思いやりの心に満ちた奉仕活動は、地域社会を支える大きな力となっており、大変心強く思います。今後とも、貴い奉仕の精神と、人と人とのつながりを大切にされながら、「We Serve」の基本理念のもと、活発に活動されることを心よりご期待申し上げます。

道といたしましては、道民の皆様の命と暮らしを守ることを最優先に、地域防災力を強化し、物価高騰で厳しい状況にある方々への支援に取り組むとともに、「こどもまんなか社会」の実現に向けて子ども・子育て施策を進め、地域を支える人材の確保・育成に取り組むなど、持続可能な地域社会を築き上げてまいります。また、次世代半導体や再生可能エネルギー、食、観光資源など、多彩な強みを最大限に活かし、新たな産業や人、投資を呼び込み、地域の力を高め、北海道の創生に取り組んでまいりますので、引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、ライオンズクラブ国際協会331-B地区の皆様が、この大会を契機として会員相互の絆をさらに深められることを願うとともに、皆様のますますのご健勝を心からお祈り申し上げ、お祝いのことばといたします。

お祝いのことば

北 見 市 長

辻 直 孝



ライオンズクラブ国際協会331-B地区第71回地区年次大会が、ここ北見市で盛大に開催されますことをお喜び申し上げますとともに、お越しくございました多くの皆様に心から歓迎申し上げます。

ライオンズクラブの皆様におかれましては、「自由を守り、知性を重んじ、我々の国の安全を図る」というスローガンのもと、日頃から献身的に社会奉仕活動に励まれ、地域の社会福祉の充実をはじめとした、安全で安心なまちづくりに多大なるご尽力をいただいておりますことに、あらためて敬意を表する次第であります。

さて、近年、急速な人口減少や少子高齢化の進展、さらにはコロナ禍による影響も相まって、「人と人」、あるいは「人と地域」のつながりが希薄化する中、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるまちづくりを進めていくためには、相互の信頼関係に基づく人間の絆こそが大変重要であり、地域社会の発展を支えていくための礎となるものと考えているところであります。

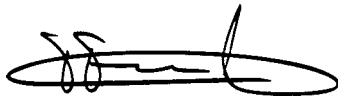
このような中、331-B地区の皆様におかれましては、それぞれの地域におきまして、スポーツ大会の開催を通じた青少年の健全育成や交通安全運動、地域の清掃作業等の環境保護対策や各種イベントへの協力、さらには高齢者や障がいのある方々への福祉活動など、様々なプログラムに取り組まれておりますことは、大変心強く、住民相互の信頼関係の絆をより深める足がかりとなるものと確信しております。

私たち行政といたしましても、安全安心で豊かな暮らしの実現に向け、さらなる地域コミュニティの活性化に取り組んでまいりますので、引き続き、ご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

結びに、本大会の開催にあたり、ご尽力されました関係者の皆様に敬意を表しますとともに、本大会のご盛会、並びにご参集の皆様方の益々のご健勝とご活躍を心から祈念申し上げ、お祝いのことばといたします。

祝 辞

国 際 会 長



ファブリシオ・オリベイラ



331-B地区ガバナー及び会員の皆様、

この度は、ライオンズ・インターナショナル331-B地区年次大会へご出席いただき、誠にありがとうございます。

ライオンズが地区内で協力することで、素晴らしいことが起こります。仲間との関係を深め、これまでの成果を喜びましょう。お互いから学び合い、ライオンとして再び自分自身に活力を与えましょう。新たな目標と新しい奉仕活動を見極めていくことを通じて、私たちはそれぞれの目的意識を新たにしながら、取り組むべき課題に注力することができるようになるのです。

年次大会はまた、ライオンズ会員としての自分自身の目標を見つめ直す良い機会でもあります。なぜライオンになったのかを思い出し、何のために毎年活動が続けているのか、思いを新たにする絶好の機会です。

ライオンとして、私たちは多くのことを成し遂げてきましたが、まだまだやるべきことは山積みです。今大会への参加自体が、皆さんのリーダーシップと、奉仕に対する責任感、そして地域へ貢献したいと願う強い信念を表しています。皆さんが奉仕活動に取り組むたびに、そこにかかわった人々に、奉仕を行った地域に、そして共に生きるこの世界に、皆さんの足跡が残されていくことを皆さんは理解されています。

地域と世界のために、皆様の活動と努力の成功を心からお祈りいたします。

奉仕の心で

祝 辞

第99代ライオンズクラブ国際会長
LCIF理事・GAT会則地域リーダー

L. 山田 實純



地区年次大会にお集まりの皆様へ

この度、貴地区の年次大会が開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

まずは今年度も能登の方々にとって非常に厳しい状況が続く中、皆様のご協力のおかげで能登支援指定のLCIF寄付金は、昨年末時点で280万ドルを超える金額となりました。一方で、近隣・遠方問わず多くの会員・クラブが被災地を助けようと活動が続けいらっしやいます。ライオンズの温かさとしを再確認し、深く感謝を申し上げるとともに、能登の人々の日常が一日も早く戻るよう、引き続きご支援をお願い致します。

今年に入ってわずか2か月の間にも、すでに大雪、地震、山火事など、国内外でかつてない規模と頻度で異常気象や災害が発生していることを、皆様も実感しておられることと思います。今後も確実に支援を必要とする人々が増えていく中で、ライオンズの存在価値はさらに重要性を増していきますが、それに反比例する形で日本のライオンズは会員減少と共に支援をする力の低下を余儀なくされています。10年前には12万1千人だった会員数は現在9万4千人をきりました。毎年およそ3,000人ずつ会員を減らしている状況です。このまま会員を減らし続け、奉仕と支援をする力を減じ続けていくのか、それとも地域から必要とされる支援を提供し続けるためにプラスに向かう努力をするのかは、ライオンズ会員一人一人の思いと行動力にかかっています。新しいクラブができる可能性が地域に存在したとしても、奉仕活動に関心がある会員候補がいたとしても、新クラブを作ろう、新会員を招こうと行動するライオンがいなければ、そのチャンスをつかむことはできません。まもなく2年目を迎えようとしている「ミッション1.5」は、日本のライオンズのためのチャンスです。全国のクラブが一丸となって取り組んでいただけることを期待しております。

今年度、ファブリシオ国際会長のメッセージは「足跡をしるす- Make your mark」です。皆さんは今年度の活動の中でどのような足跡を残されたでしょうか？奉仕活動、新会員のスポンサー、クラブや支部の結成、LCIFへの寄付など、足跡の残し方は様々ですが、皆さんが残してくださった足跡の数だけライオンズが活性化し、社会はより良くなります。この1年間の皆様のご尽力に心より感謝申し上げます。

今年10月にはオセアルフォーラムが札幌で開催されます。日本全国そしてオセアル地域からライオンズが集結するこの機会に、ぜひ多くのライオンズとの交流を通じて刺激を受け、学び、楽しんで、今後の活動に活かしていただきたいと思います。

末筆ながら、貴地区年次大会のご成功と会員お一人お一人のご多幸をお祈り申し上げます。

祝 辞

国 際 理 事

L. 濱野雅司



本日、ここに第71回地区年次大会が盛大に開催されますことを、心より嬉しく思います。また、キャビネットや大会委員会をはじめ、多くの方々がクラブやメンバーの皆様にとって素晴らしい大会になるようご尽力されたことに、深く感謝申し上げます。

年次大会はその年の地区の活動の集大成の場であり、一年間の成果を確認し、今後の運営方針についての意見交換と決議を行い、さらなる躍進を誓い合う、地区にとって極めて重要な機会です。また、多くのメンバーが一堂に会し、友情を深め、達成を喜び合い、互いに学び合うことで、新たな英気を養う場でもあります。

ライオンズクラブが日本に誕生して約70年以上が経過しました。この間、青少年健全育成、視力障害者支援、献血活動、薬物乱用防止活動など、多岐にわたる奉仕活動を通じて、「We Serve」のモットーのもと、地域社会に幅広く貢献してまいりました。また、毎年各地で発生する災害においても、被災地域への支援に多大なる尽力をされています。皆様が多彩な活動を通じて地域社会を支え、子どもたちの成長を後押ししていることに、心から敬意と感謝を表します。

皆様の奉仕活動は、ライオンズクラブの根幹を成すものです。ファブリシオ・オリベイラ国際会長は「Make Your Mark：足跡をしるす」というメッセージを発信しています。私たち一人ひとりが小さな奉仕を積み重ねることで、その愛情と思いやりが結集され、地域社会に確かな足跡を残しています。世界のニーズが絶えず増え続け、変化し続ける中であって、ライオンズが地域社会のために行動を起こし、継続することは、やがて世界中に大きな変化をもたらす力となります。

災害や困難、不安定な国際情勢に直面している現在、多くの課題に立ち向かいながら、私たちは100年を超える奉仕の歴史を受け継ぎ、これからも地域社会を照らす「希望の光」として、子どもたちの健やかな成長の道標であり続ける責務を負っています。どうか今後も皆様の素晴らしい活動によって、ライオンズの奉仕の輪をさらに広げ、地域社会のために力を結集して、世界をより輝かしいものしていきましょう。

この年次大会を通じて、地区の結束が一層高まり、各クラブがさらに飛躍を遂げられますこと、そして本日お集まりの皆様がご健康でますますご活躍されますことを、心より祈念申し上げます。お祝いの言葉とさせていただきます。

祝 辞

国 際 理 事

L. 城 阪 勝 喜



本日、ライオンズクラブ国際協会331-B地区第71回年次大会が多くの皆さんの参加を得て盛大に開催されますことに、心よりお慶び申し上げます。

私は今期の国際理事会において、監査委員会の委員長と財務及び本部運営委員会の副委員長を務めております。いずれも、国際協会が正しい方向を向いているかを見る上で非常に重要な委員会であり、ファブリシオ・オリベイラ国際会長の信任に応えるべく精進しているところです。

オリベイラ国際会長は、ライオンズの「善意の奉仕」を世界中の人々に提供するには、より多くの善意のメンバーが必要だと述べて「ミッション1.5」目標達成の重要性を訴えています。日本のライオンズクラブは、1952年に東京LCが発足して以降、破竹の勢いで拡大して1993年6月末には会員数16万8,000人超となりましたが、その後は右肩下がりで現在は10万人を下回っています。会員が減少した要因には、少子高齢化や長く続いたデフレ経済などさまざまな問題が重なりました。あと30年このままのペースで減少が続けば、日本のライオンズは消滅しかねません。これは本当に由々しき問題で、今手を打たなければなりません。

世界に目を転じれば、社会を大きく動かすような変革は、スティーブ・ジョブズやイーロン・マスクといった非常識とも言える異端児によって成し遂げられています。未来に向かって日本のライオンズクラブが発展していくためには「突き抜けた人物（メンバー）」を認め、その能力が存分に生かされるような組織であってほしいと考えています。

国際協会の発展のためにあらゆる面で活躍を続けてきた日本のライオンズクラブとして、「ミッション1.5～Grow the Good」の先頭に立ち、世界のライオンズを牽引していけるようご協力をお願いいたします。私自身も世界をより良い場所へと変えていくため、「ミッション1.5」の成功に全力を尽くす覚悟です。

結びに、貴地区の今後ますますのご発展と、会員の皆様のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

祝 辞

MD331ガバナー協議会
議 長

L. 諏 訪 昇 三



春暖の候、331-B地区におかれましては、益々ご隆盛の事と拝察いたします。第71回地区年次大会が北見市において地区ガバナーL.伊東隆志、大会委員長L.田尾忠正のもと、331-B地区の多くのメンバーと共に開催されますことに心よりお祝いを申し上げます。

今期全世界のライオンズメンバーは、ファブリシオ・オリベイラ国際会長のテーマ「Make Your Mark」（足跡をしるす）を旗印に「ミッション1.5」と「LCIF」の目標達成を目指して奉仕活動に取り組んで参りました。

331-B地区においても、伊東隆志ガバナーを筆頭にメンバーが一丸となってミッション1.5の目標達成、そしてLCIFの目標金額達成に向け、会員数減少傾向の中で大変な努力をされております。現在のところ、なかなか厳しい中間状況ではありますが、諦めることなく期末まで目標達成に向けご努力いただけるものと信じております。

今期の準地区活動に対する、伊東隆志ガバナーそして331-B地区メンバーの皆様の取り組みに心より敬意を表すと共に、感謝とお礼を申し上げます。

さて、本年10月23日には第62回OSEAL FORUM in SAPPOROが41年ぶりに北海道、札幌で開催されます。331-B地区の皆様からも沢山の支援金を拠出いただきありがとうございます。一社）日本ライオンズの国際大会委員会からは、開催地として参加者登録者3,000名の登録目標が来ております。オセアル各国メンバーとの交流の場であり、ライオンズクラブをより深く学ぶ場でもあり、日本ライオンズを世界に発信する絶好の機会でもあります。次のオセアルフォーラム北海道開催は数十年後になるかと思いますので、この地元開催の好機に皆様のライオンズライフの一ページに、「オセアルフォーラムの思い出」をしっかりと留めていただければ幸いです。一人でも多くのライオンズメンバーやご家族のご登録を心待ちにしております。

結びになりますが、331-B地区のメンバー全員のご健勝、ご多幸と各クラブのご活躍、ご発展を心よりご祈念申し上げ、祝辞と致します。

祝 辞

L C I F 理 事
元 国 際 理 事

L. 鶴 嶋 浩 二



地区年次大会にお集まりの皆様

この記念すべき第71回地区年次大会が開催されますことを心からお慶び申し上げます。

地区年次大会は、ライオンズメンバーが一堂に会し、それぞれのクラブが活動した成果を共有し、次年度に引継ぎをする貴重な場であります。この大会を有意義なものとし、更なるライオンズ活動へとつなげて頂けるものと期待しております。

ライオンズクラブは、多様な方法で、地域社会への奉仕活動をしています。各地区での皆様の尽力が、私たちの理念を実現するための基盤となっています。特に、この数年間は新型コロナウイルスの影響により、私たちの活動も多くの試練に直面しましたが、それにもかかわらず、皆様は地域社会のために尽力し続けてきました。その姿勢に心から敬意を表します。

また、日頃よりLCIFにご理解、ご協力を賜りこの場をお借りしまして、感謝申し上げます。

LCIFは、200の国と地域に約13億ドルの交付金を提供し、人々の暮らしに変化をもたらしています。皆様の寄付が世界の誰かを救うのです。

ライオンズクラブの活動は、ただ単に奉仕を提供するだけでなく、互いに助け合い、理解し合うことで、より良い世界を築くための大切な一歩です。皆様の活動によって、多くの人々が希望を持ち、笑顔を取り戻すことができます。

今後も、私たちが一丸となってこの使命を果たし続けることができるよう、さらなる協力と連携をお願い申し上げます。ライオンズクラブ国際財団としても、皆様の活動を支援し、共に成長していけるよう努力してまいります。

最後に、地区年次大会の成功を心よりお祈り申し上げるとともに、皆様の健康とご多幸を願い、お祝いの言葉とさせていただきます。

ご来賓・ご芳名

衆議院議員	武 部 新 様
衆議院議員	川原田 英 世 様
北海道知事	鈴 木 直 道 様
北見市長	辻 直 孝 様
釧路市長	鶴 間 秀 典 様
網走市長	水 谷 洋 一 様
紋別市長	宮 川 良 一 様
北海道議会議員	船 橋 賢 二 様
北海道議会議員	鈴 木 一 磨 様
北見市議会議長	飯 田 修 司 様
北見商工会議所会頭	舩 川 誠 様
北見ロータリークラブ会長	小 池 康 幸 様
北見西ロータリークラブ会長	西 村 清 一 様
北見東ロータリークラブ会長	京 塚 啓 司 様
国際ソロプチミスト北見会長	高 畑 美知子 様
国際ソロプチミスト北見みんと会長	後藤田 倫 子 様
公益社団法人 北見青年会議所理事長	三 好 学 様
株式会社 北海道新聞社北見支社長	岡 本 玄 吾 様
株式会社 伝書鳩 代表取締役	藤 澤 達 夫 様

事務局	
事務局長	遠藤 めぐみ
事務局員	工藤 かずみ



キャビネット構成員

地区名誉顧問会議長



L. 中谷 宣 巨
(釧路)

地区名誉顧問会



L. 藤原 回 向
(稚内北斗)



L. 阿 部 昭
(士別)



L. 香 川 俊 雄
(帯広中央)



L. 奥 山 壽 雄
(白滝)

地区名誉顧問会



L. 山 田 正 昭
(釧路ぬさまい)



L. 佐 藤 信 雄
(富良野)



L. 井ノ浦 義 明
(稚内北斗)

地区ガバナー・前地区ガバナー・副地区ガバナー



地区ガバナー
L. 伊 東 隆 志
(北見)



前地区ガバナー
L. 藤原 回 向
(稚内北斗)



第一副地区ガバナー
L. 大 島 尚 久
(釧路みなと)



第二副地区ガバナー
L. 広 瀬 寛 人
(富良野)

地区会計監査委員



L. 松本恵治
(端野)



L. 中川弘貴
(置戸)



地区LCIFコーディネーター
L. 伊東隆志
(北見)



地区LCIF副コーディネーター
L. 大島尚久
(釧路みなと)



地区GLTコーディネーター
L. 広瀬寛人
(富良野)

地区コーディネーター



地区GLT副コーディネーター
L. 坂本 齊
(富良野)



地区GMTコーディネーター
L. 矢吹定夫
(帯広平原)



地区GMT副コーディネーター
L. 大和田 収
(本別)



地区GSTコーディネーター
L. 喜多武彦
(士別)



地区GST副コーディネーター
L. 佐藤正明
(美幌)

地区コーディネーター



地区WYPTコーディネーター
L. 大津幸三
(釧路みなと)



地区WYPT副コーディネーター
L. 木下裕幸
(標茶)



地区GETコーディネーター
L. 村山 聡
(名寄)



地区GET副コーディネーター
L. 松下賢二
(名寄)

キャビネット (幹事・会計)



幹事(全般)
L. 二宮雄一
(北見)



会計(広報)
L. 山田兼士
(北見)



副会計(財務)
L. 伊藤慎司
(北見)



1R1Z
L. 佐々木良吉
(釧路みなと)



1R2Z
L. 足立計昌
(根室)

ゾーン・チェアパーソン

ゾーン・チェアパーソン



2R1Z
L. 高橋 昭 典
(東川)



2R2Z
L. 菅 野 道
(旭川ナナカマド)



3R1Z
L. 豊 田 典 正
(帯広)



3R2Z
L. 太 田 好 啓
(帯広平原)



4R1Z
L. 柳 澤 豊
(留萌みなと)

ゾーン・チェアパーソン



4R2Z
L. 明 石 欽 弥
(名寄)



4R3Z
L. 藤 田 隆 明
(稚内)



5R1Z
L. 脇 坂 敏 夫
(湧別)



5R2Z
L. 松 平 範 慶
(津別)

ゾーン委員



1R1Z
L. 綿 貫 裕 介
(釧路みなと)



1R2Z
L. 川 目 摂
(根室)



2R2Z
L. 西 脇 務
(旭川ナナカマド)



3R1Z
L. 石 邑 義 幸
(帯広)



3R2Z
L. 清 野 芳 明
(帯広平原)

ゾーン委員



4R1Z
L. 小 路 泰 孝
(留萌みなと)



4R2Z
L. 阿 部 潤 司
(名寄)



4R3Z
L. 山 本 秀 一
(稚内)



5R1Z
L. 寺 田 忠 弘
(湧別)



5R2Z
L. 野 口 智 史
(津別)

運営委員会



運営委員長(副幹事)
L. 田尾 忠正
(北見)



運営副委員長(副幹事)
L. 辻 太郎
(北見)



運営副委員長(副幹事)
L. 笈田 壽一
(網走)



運営副委員長(副幹事)
L. 松田 佳陽
(紋別オホーツク)



運営委員(副幹事)
L. 鳥越 孝枝
(北見)

運営委員会



運営委員(副幹事)
L. 寺中 賢武
(網走)



運営委員(副幹事)
L. 大原 崇義
(紋別オホーツク)



会則、コンプライアンス委員長
L. 白川 利幸
(北見)



会則、コンプライアンス副委員長
L. 山本 一男
(北見)



会則、コンプライアンス副委員長
L. 高橋 哲也
(釧路みなと)

地区委員会

地区委員会



国際大会・国際協調委員長
L. 岡村 廉明
(端野)



国際大会・国際協調副委員長
L. 小田 大典
(端野)



薬物乱用防止・献血献眼委員長
L. 山中大輔
(北見白樺)



薬物乱用防止・献血献眼副委員長
L. 小滝 愛子
(北見白樺)



レオ青少年育成、アラート、YCE委員長
L. 浅野 敬一
(北見中央)

地区委員会



レオ青少年育成、アラート、YCE副委員長
L. 佐藤 豪一
(帯広かしわ)



レオ青少年育成、アラート、YCE副委員長
L. 清野 芳明
(帯広平原)



レオ青少年育成、アラート、YCE副委員長
L. 小野寺 一史
(標茶)



マーケティング・IT委員長
L. 伊藤 慎司
(北見)



マーケティング・IT副委員長
L. 板垣 浩
(北見)

キャビネット構成員

地区委員会



平和ポスターコンテスト委員長
L. 折笠 充
(網走桂)



平和ポスターコンテスト副委員長
L. 上野 恭裕
(網走桂)

特別委員会



O S E A L フォーラム
運営特別委員長
L. 大島 尚久
(釧路みなと)



公益財団法人日本ライオンズ
特別委員長
L. 広瀬 寛人
(富良野)

長期計画リサーチ委員会



長期計画リサーチ委員長
L. 藤原 回向
(稚内北斗)



長期計画リサーチ副委員長
L. 大島 尚久
(釧路みなと)



長期計画リサーチ副委員長
L. 広瀬 寛人
(富良野)



長期計画リサーチ委員
L. 中谷 宣巨
(釧路)



長期計画リサーチ委員
L. 二宮 雄一
(北見)

長期計画リサーチ委員会



長期計画リサーチ委員
L. 木村 宏幸
(釧路みなと)



長期計画リサーチ委員
L. 佐藤 健治
(富良野)

地区大会委員会



地区大会委員長
L. 尾 忠正
(北見)



地区大会副委員長
L. 永田 裕一
(北見)



地区大会事務局長
L. 山田 兼士
(北見)

地区マーケティング・YCE委員



第1R地区マーケティング・YCE委員
L. 綿貫 裕介
(釧路みなと)



第2R地区マーケティング・YCE委員
L. 貝谷 義直
(旭川東)



第3R地区マーケティング・YCE委員
L. 磯部 正博
(帯広)



第4R地区マーケティング・YCE委員
L. 山本 秀一
(稚内)



第5R地区マーケティング・YCE委員
L. 松平 範慶
(津別)



2024-2025年度 ライオンズクラブ国際協会331-B地区 第71回地区年次大会組織表

大会長・地区ガバナー	
L.伊東 隆志 (北)	見)

大会名誉顧問	
L.中谷 宣巨 (剣路)	
L.藤原 回向 (稚内北斗)	
L.阿部 昭 (士別)	
L.香川 俊雄 (帯広中央)	
L.奥山 壽雄 (白滝)	
L.山田 正昭 (剣路ぬさまい)	
L.佐藤 信雄 (富良野)	
L.井ノ浦義明 (稚内北斗)	

副大会長・第一副地区ガバナー	
L.大島 尚久 (釧路みなと)	
副大会長・第二副地区ガバナー	
L.広瀬 寛人 (富良野)	

大会委員長	
L.田尾 忠正 (北)	見)

大会幹事	
L.二宮 雄一 (北)	見)
大会副幹事	
L.辻 太郎 (北)	見)
L.笈田 壽一 (網走)	走)
L.松田 佳陽 (紋別オホーツク)	
L.鳥越 孝枝 (北)	見)
L.寺中 賢武 (網走)	走)
L.大原 崇義 (紋別オホーツク)	

大会副委員長	
L.永田 裕一 (北)	見)

大会委員	
L.今野恵理子 (北)	見)
L.立崎 聡一 (網走)	走)
L.飯田 守 (北見中央)	
L.中山 寿一 (網走)	走)
L.三谷 勝利 (北見白樺)	
L.岸 豊光 (紋別オホーツク)	
L.森谷 幸弘 (端野)	

大会会計	
L.山田 兼士 (北)	見)
大会副会計	
L.伊藤 慎司 (北)	見)

大会事務局局長	
L.山田 兼士 (北)	見)

大会会計監査委員	
L.松本 恵治 (端野)	
L.中川 弘貴 (置戸)	

大会事務局員	
速藤めぐみ	
工藤かずみ	

大会本部					会		員		
部会名	業務内容	部長	副部長	部長	部	員			
総務グループ	総務・記念誌部会	(北) 見) L.田丸 月香	(北) 見) L.今野 岳一	(北) 見) L.五十嵐俊啓					
	登録宿泊部会	(北) 見) L.刀田 金藏	(北) 見) L.中野 栄一	(北) 見) L.中野 栄一					
	献血救護部会	(北) 見) L.高橋 勝志	(北) 見) L.藤田 尚士	(北) 見) L.藤田 尚士					
	交通・駐車場部会	(北) 見) L.鈴木 正末	(北) 見) L.南 清吾	(北) 見) L.南 清吾					
式典グループ	運営部会	(北) 見) L.永田 裕一	(紋別オホーツク) L.松田 佳陽 (北) 見) L.逢坂 竜一	(紋別オホーツク) L.神開 達也 (紋別オホーツク) L.大石 聡 (網走) L.山崎 哲也 (網走) L.館向 正直 (網走) L.横山 正直					
	会場部会	(北) 見) L.河合 昭徳	(北) 見) L.信田 直哉 L.板垣 浩 L.近藤 誠	(北) 見) L.信田 直哉 L.板垣 浩 L.近藤 誠					
	物産・売店部会	(北) 見) L.中崎 孝俊	(北) 見) L.大崎 靖誠	(北) 見) L.大崎 靖誠					
	接待部会	(北) 見) L.小谷野真一	(北) 見) L.武田 雅弘	(北) 見) L.武田 雅弘					
晩餐会グループ	運営部会	(北) 見) L.佐伯 英二	(北) 見) L.藤澤 晋	(北) 見) L.藤澤 晋					
	司会進行部会	(北) 見) L.今野恵理子	(北) 見) L.谷越 正則	(北) 見) L.谷越 正則					
	会場部会	(北) 見) L.横島 年治	(北) 見) L.笠島 泰信	(北) 見) L.笠島 泰信					
	記念ゴルフ大会の企画・運営	(北) 見) L.湯浅 哲哉	(北) 見) L.林 善幸	(北) 見) L.林 善幸					
	前夜祭部会	(北) 見) L.山本 一男	(北) 見) L.白川 利幸	(北) 見) L.白川 利幸					
	アクティビティ部会	(北) 見) L.田尾 忠正	(北) 見) L.二宮 雄一	(北) 見) L.二宮 雄一					



大会役員



大会長
地区ガバナー
L.伊 東 隆 志
(北見)



副大会長
第一副地区ガバナー
L.大 島 尚 久
(釧路みなと)



副大会長
第二副地区ガバナー
L.広 瀬 寛 人
(富良野)



大会委員長
L.田 尾 忠 正
(北見)



大会副委員長
L.永 田 裕 一
(北見)



大会幹事
L.二 宮 雄 一
(北見)



大会副幹事
L.辻 太 郎
(北見)



大会副幹事
L.笈 田 壽 一
(網走)



大会副幹事
L.松 田 佳 陽
(紋別オホーツク)



大会副幹事
L.鳥 越 孝 枝
(北見)



大会副幹事
L.寺 中 賢 武
(網走)



大会副幹事
L.大 原 崇 義
(紋別オホーツク)



大会会計
L.山 田 兼 士
(北見)



大会副会計
L.伊 藤 慎 司
(北見)



大会会計監査委員
L.松 本 恵 治
(端野)



大会会計監査委員
L.中 川 弘 貴
(置戸)



大会事務局長
L.山 田 兼 士
(北見)



大会委員
L.今 野 恵理子
(北見)



大会委員
L.立 崎 聡 一
(網走)



大会委員
L.飯 田 守
(北見中央)



大会役員



大会委員
L. 中 山 寿 一
(網走桂)



大会委員
L. 三 谷 勝 利
(北見白樺)



大会委員
L. 岸 豊 光
(紋別オホーツク)



大会委員
L. 森 谷 幸 弘
(端野)



ガバナー年次報告 (2024.7～2025.6)

地区ガバナー L・伊東 隆志

■ はじめに

準備事務局は新年が明けて開局準備に取り掛かり、1月20日より開局いたしました。

2月Qセンターでの研修、3月地区目標の設定、4月地区役員の出向依頼、ガバナー公式訪問日程連絡、5月地区行動計画策定、6月メルボルン国際大会、と準備期間はあっという間に過ぎ去ります。

そして、7月北見キャビネットのスタートです。

ミッション1.5（ワンポイントファイブ）で示されているように、会員増強・新クラブ結成が最重要課題となるなか、国際会長L.ファブリシオ・オリベイラの「足跡をしるす」、私のスローガン「明るく、楽しい、ライオンズ」を旗印に、この1年間を進んでいくこととなりました。

■ 地区運営の基本方針

「明るく、楽しい、ライオンズ」をスローガンとしました。

今年度の最重要課題であるM1.5の地区目標は、「クラブメンバーを純増10人、クラブを1増やそう」ですが、ライオンズに魅力が無ければ人もクラブも増えないでしょう。

メンバー自身が「ライオンズ、楽しいね!」と思うような活動することが根本にあるべきだと考え、このスローガンを決めました。

「明るく、楽しい、ライオンズ」のクラブ活動・運営にご理解とご協力をお願いします。

地区運営の基本方針は明るく、楽しく活動することをお願いし、普遍的な4項目に絞り、特別なものは取り込んでおりません。

1. クラブ活動の活性化と、仲間作りで会員増強
2. 指導力育成でクラブ活性化
3. LCIF寄付の推進
4. 環境への取り組みの推進

「奉仕報告」もお忘れなく。（奉仕報告率100%を目指します）

これらの方針は、ライオンズの良いところはどんどん伸ばせばよい、悪いところは改善していけば良くなると、自分なりにSWOT分析を実施して築いたものです。

大谷翔平選手が花巻東高校1年生の時に立てた「ドラフト1位8球団」の目標達成シートを使いながら、キャビネット会議やガバナー公式訪問などで説明させていただきました。

■ 3役スクール・事務局員研修

6月29日北見市で開催しました。

北見キャビネットのスローガン・基本方針の説明、役員必携やEブックの説明、美田A地区ガバナーエレクトと蠣崎A地区LCIF委員長によるLCIFセミナーなどが開催されました。

事務局員については、ライオンポータルやサバンナの使用方法などの研修があり、終了後は懇親会で交流を広げ、今後の活躍を誓いあいました。

■ 第106回メルボルン国際大会

6月21～25日オーストラリア・メルボルンで日本から1,100人余りが参加し、第106回ライオンズ国際大会が開催されました。

22日にはインターナショナルパレードが行われ、日本は約800人がそろいのベストで行進し、地元の和太鼓チームを添えた結果、パレードコンテストのデモンストレーションユニット部門で第1位を獲得しました。

マノージ・シャー（ケニア・ナイロビ）が2024-25年度国際第3副会長に選出され、会則及び付則改正案において、「会員が第二副地区ガバナー職への就任資格を得るために使用できる地区キャビネットの役職を拡大し、GAT（グローバル・アクション・チーム）および地区LCIFコーディネーターの役職を含める決議案」が可決されるなどの決議があり、最終日に開かれた閉会式では、ファブリシオ・オリベイラ国際会長が就任し、2024-25年度がスタートしました。

■ 第61回東洋東南アジアフォーラム（オセアルフォーラム タイ パタヤ）

11月14日から17日まで、第61回目となるOSEALフォーラムが、タイ・パタヤにて開催されました。街中・ホテルにはいたるところにフォーラム開催を告げるバナーやパネルが展示され、14日にはウミガメの放流会、LCIFゴルフや夜のコーカス会議が開催され、15日にはフォーラムでの最重要会議である、朝の会議とガバナー会議の第1回目が開催されました。パタヤ

フォーラムではドレスコードが「アロハシャツ」であることを受け、開会式から閉会式までお揃いのアロハシャツを身に着けて参加しました。

このような国際大会に参加すると、ライオンズクラブは国際組織なのだということがよくわかります。今年は札幌で開催されますので、ぜひ、皆様方をご参加いただき、各国の仲間を歓迎しようではありませんか。

■ ガバナー公式訪問

8月18日北見にて第5R、8月23日帯広にて第3R、8月24日釧路にて第1R、8月31日に旭川にて第2R、9月1日に稚内にて第4Rと、ガバナー公式訪問が開催されました。

SWOT分析や大谷翔平が使った目標達成シートから基本方針が策定されたことなど、熱心にメモを取りながら聴いていただいたことが印象に残っています。

ZCはじめクラブ役員の皆様方にはご苦勞をおかけしましたが、おかげ様で懇親会ではアメリカン盆ダンスに飛び入り参加をさせていただいたり、ガバナーに関するクイズ形式の抽選会があったり、クラブごとの記念撮影があったり、とても楽しい公式訪問となりました。

皆様方には、温かく迎えていただき、感謝申し上げます。

■ 周年行事

今年度は10クラブが周年行事を迎えるとお聞きしておりましたが、他の行事と重なるなどのため、祝辞を述べる事が出来ないことが多くございました。

誠に申し訳ございません。

周年行事は、更なるライオンズクラブの発展のために、今までの活動を振り返り、素晴らしい奉仕活動を称えあい、これからの活動を考えることが出来る良い機会となります。

皆様方のクラブが益々発展し、更なる記念日を積み重ねることと、会員の皆様のご健勝でありますよう、祈念申し上げます。

■ キャビネット会議（4回開催）

今年度は4回のキャビネット会議を開催いたしました。第3回目のキャビネット会議は厳寒期であり交通安全を鑑み、Zoomでの開催といたしました。

思い起こせば、第1回目は緊張していましたが、ごこちない進行だったと思いますが、回を重ね、落ち着いてきた印象があります。

役員の皆様方には、大変お世話になり、ありがとうございました。



☆第1回キャビネット会議（7月27日）

報告事項

地区内運営の基本方針、国際会長メッセージ、複合地区各種会議、会員並びにクラブ活動
状況報告集計表、331-B地区引継報告

審議事項

前年度会計報告
前年度会計監査報告
331-B地区キャビネット会則
キャビネット旅費支給規定
リジョン・ゾーン経費算定基準
地区キャビネット慶弔規定
本年度会計予算承認 など
各種コーディネーター報告
各委員会報告

☆第2回キャビネット会議（11月9日）

報告事項

複合地区各種会議、リジョン・ゾーン経費の算定基準、前年度会計決算報告、会員並びに
クラブ活動状況報告集計表

審議事項

第71回地区年次大会要領（案）、取引金融機関（案）、議事規則（案）
次期地区役員・委員推薦要綱(案)
次期地区ガバナー立候補者届出について
次期第一副地区ガバナー、第二副地区ガバナー立候補者届出について など
各種コーディネーター報告
各委員会報告
OSEALフォーラムについて
GLTセミナー開催
公益社団法人 日本ライオンズ 活動報告

☆第3回キャビネット会議（2月8日）Zoomにて開催

報告事項

複合地区各種会議、会員並びにクラブ活動状況報告集計表、LCIF交付金使用状況中間報告

審議事項

次期地区ガバナー立候補者届出

次期第一副地区ガバナー、第二副地区ガバナー立候補者届出

331-B地区会計収支中間報告、監査報告

地区年次大会における決算審議に関する件について

地区費等徴収金額の件について

緊急援助資金規則に基づく資金の補充について

第71回地区年次大会組織表（案）、アワード（案）、代議員総会プログラム（案） など

各種コーディネーター報告

各委員会報告

☆第4回キャビネット会議（4月5日）

報告事項

複合地区各種会議、第71回地区年次大会大会委員長変更について、第71回地区年次大会組織表、会員並びにクラブ活動状況報告集計表

審議事項

地区ガバナーの選出について

第72回地区年次大会開催地並びにホストクラブ

次期第一副地区ガバナー、第二副地区ガバナー選出について など

各種コーディネーター報告

各委員会報告

■ ガバナー諮問委員会

ガバナー諮問委員会はキャビネット会議終了後30日以内にZCが各々のゾーンで開催し、キャビネットからの報告と決定事項が各クラブに伝達されると共に、各クラブからのキャビネットに対する意見や要望を聞く会議です。

各ZCから会議終了後に諮問委員会の議事報告書が提出され、問題点がないかを確認・点検し、今後の運営の参考資料として保管しています。

■ ミッション1.5（ワンポイントファイブ）について

私たちは、クラブ、地域社会、奉仕をこれまで以上に力強いものにするために、2027年までに世界中で会員数150万人を達成しようという使命に取り組んでいます。

これが現在の一丁目一番地、最も力を入れるべき課題です。

日本の地区目標

今年度の日本の地区目標は8複合地区35準地区において、新クラブ53クラブ結成目標に対して21クラブ、新入会員目標9,600人に対して5,800人、純増目標900人に対して1,200人と純増目標だけがクリアされておりますが、他は達成できていない状況にあります。

我が331-B地区においては、新クラブ結成目標1クラブに対して0クラブ、新入会員目標187人に対して79人、純増目標10人に対して-26人と大きく出遅れており、年度末に解散クラブが見込まれていることから、非常に苦しい展開となっております。

GAT（グローバルアクションチーム）活動について

ミッション1.5（ワンポイントファイブ）を達成するために、GATの内容も少し変わり、会員増強・新クラブ結成を後押しする体制になりました。

GLT、GMT、GST、WYPT、GETこの5チームにゾーンチェアパーソンが加わり、総称でGATと呼ばれます。

GLT（グローバル・リーダーシップ・チーム 指導力育成）

GLTは研修等を通じてライオンズのことをよく知ると共に、社会勉強をしていくことで、地域をよく知る力強い奉仕の仲間を育成することにあります。

ライオンポータルを開いて、Learnで勉強してみましょう。

GMT（グローバル・メンバーシップ・チーム 会員増強）

GMTは会員維持・増強を目指します。SWOT分析でクラブの強み・弱みを知り、クラブの行動目標を掲げ、実行してみましょう。皆様のクラブが強くなること間違いなしです。

GST（グローバル・サービス・チーム 奉仕）

マンネリを打破し、新しい奉仕活動を創出していきましょう。

そこには、新たな喜びがきっと見つかります。



ガバナー年次報告

WYPT（ウーマンアンドヤングピープルチーム）

名前が少し変わりました。女性会員、家族会員、未来を担う人材の増強を目指しています。

クラブの目的をせばめて、その目的に特化した小規模なスペシャルティクラブの結成にも力を入れています。これは新しいクラブの結成にはうってつけのクラブの形態です。

GET（グローバル・エクステンション・チーム 新クラブ結成）

新クラブ結成に奔走するチームです。

現在、Webを利用したクラブの立ち上げを進めております。

■ LCIF報告

三役スクールにおいてLCIFセミナーを実施したほか、チャリティボウリング大会を200名のご参加をいただき開催しました。

おかげで献金された人数は大きく増加しておりますが、今年度のLCIF献金目標は、一人100ドルを目標に全体で15万ドルのところ、3月末で50%を切っている状況で、前年実績を大きく下回っていることから、引き続きLCIF献金の推進をお願いいたします。

■ 委員会報告

会則、コンプライアンス委員会

キャビネット運営規則の順守審査、一般社団法人日本ライオンズの会則、コンプライアンス委員会からの文書管理・調整を行っております。

国際大会・国際協調委員会

11月14日～17日第61回OSEALフォーラムが、タイ・パタヤにて開催されました。

第62回OSEALフォーラムはいよいよ札幌で開催されますので奮ってご参加ください。

第107回オーランド国際大会（7月13～17日）にも多数のご参加をお願いします。

薬物乱用防止・献血献眼委員会

今年度は薬物乱用防止教育認定講師養成講座を開催することが出来ませんでした。申し訳ありません。

献血については、4月25日での献血実績は回数114回、人数6,010人、採血量2,329,300mlとなっております。ご協力ありがとうございます。

レオ・青少年育成、YCE、アラート委員会

帯広、釧路、オホーツクの3レオクラブの活動については、それぞれ例会を毎月開催し、独自に清掃活動などを行っているほか、ライオンズクラブとの合同アクティビティを実施しております。今年度はオータムキャンプも実施いたしました。

YCEについては、この2年間中止していた夏季受け入れが復活し、スイス、スペイン、フィンランドからの8名と標茶高校の学生で、ネイパル深川にてサマーキャンプを実施いたしました。その前後で来日生を受け入れていただいたホストファミリーには大変お世話になりましたこと、千歳空港でのお出迎えや、お見送りいただきましたこと、感謝申し上げます。

アラートに関しては、能登豪雨被害の対応について、LCIFと連携しながら資金提供のほか全国の仲間達が、輪島市や珠洲市を中心に、後片づけや清掃、断水地域での炊き出しなどの労力奉仕を行っております。

また、社会福祉協議会との災害時のボランティア派遣協定締結を推進しておりますので、ご理解をいただきたく、よろしくお願いします。

全国アラートフォーラム2025 in 茨木（3月14日開催）が盛会に開催されました。

マーケティング・IT委員会

隔月発行のエコー誌について、各クラブの奉仕活動を取り上げ、写真を多く掲載することで、親しみやすい誌面作りを心がけました。

ホームページの使いやすさ、次期キャビネットへの引継などの課題があります。

平和ポスターコンテスト委員会

小中学生を対象に毎年行っている平和ポスターコンテストについては、応募が39点あり、北見キャビネットにおいて審査会を実施いたしました。

今年の年次大会において、全応募作品を展示させていただきます。

■ 緊急援助資金について

昨年の地震に次いで今年は能登地方に豪雨被害の発生がありました。地元のガバナー、アラート委員会やLCIFと協議した結果、緊急援助資金は発動せず、各クラブからLCIFを通じて一人2,000円の寄付をお願いしております。

これは、昨年の震災から間もない復興の途中での豪雨災害であったことから、道路や水道な

どのインフラ整備が長期にわたることが見込まれ、それに伴って地域が復興していくことから、緊急を要する資金援助よりも、もっと長い期間にわたる支援が必要であると考えられ、地元のガバナーからも長期にわたる支援のお願いがあったことによります。

緊急援助資金は、緊急性の高い災害等に使用させていただこうと考えておりますが、今年度は緊急援助資金からの支出は、今のところございません。

なお、4月20日現在で、4,861,556円の残高があり、おおむね500万円の積み立てがありますので、各クラブにご負担いただいて増額することは考えておりません。

■ まとめ

331-B地区はクラブ解散の嵐が吹き荒れています。

今こそ、明るく、楽しいライオンズ活動を通じて、会員増加につなげていくチャンスを逃さないでください。

隣のクラブと合同で例会を開催するなど、マンネリを打破した先には「ライオンズって楽しいね！」そういう声上がるようになることは間違いないのですから。

次期ガバナー、次期第一副地区ガバナー、次期第二副地区ガバナーには大変な時代に舵取りをしていくことになると思いますが、ご活躍を期待しております。

最後に北見キャビネットを支えて下さったすべてのライオンにお礼を申し上げます。

つたないガバナーでありましたが、皆様のおかげでここまでやっていくことができました。

皆さん、本当にありがとうございます。



ライオンズクラブ国際協会331-B地区 第71回地区年次大会 代議員総会プログラム

年 月 日	2025年5月24日 (土)
場 所	北見市民会館
※ガバナー及び第一及び第二副地区ガバナーの信任投票受付	12:00～13:00
代議員登録受付	12:00～13:00
資格審査・議事運営・指名選挙・決議正副委員長会議	12:15～12:45
代議員総会	13:00～13:20
代議員分科会	13:30～14:10
代議員再開総会	14:20～14:50
大会式典登録受付	14:00～15:00
大会式典	15:10～17:00

【代議員総会】	司 会	L. 松田 佳陽
1. 開会宣言・開会ゴング	大会議長	L. 伊東 隆志
2. 役員紹介	大会副幹事	L. 松田 佳陽
3. 大会議長挨拶	大会議長	L. 伊東 隆志
4. 代議員資格審査結果報告	資格審査委員長	L. 伊東 隆志
5. 大会議事規則及び議事運営説明	議事運営委員長	L. 二宮 雄一
6. 地区ガバナー及び第一及び第二副地区ガバナーの信任投票	指名選挙委員長	L. 喜多 武彦
7. 決議委員会の構成について説明	決議委員長	L. 村山 聡

【分科会審議】		
8. 代議員総会再開宣言	大会副幹事	L. 松田 佳陽
9. 信任投票開票結果報告	指名選挙委員長	L. 喜多 武彦
10. 地区ガバナー及び第一及び第二副地区ガバナー当選者の宣言	大会議長	L. 伊東 隆志
11. 各分科会決議答申	決議委員長	L. 村山 聡
12. 採決	大会議長	L. 伊東 隆志
13. 地区ガバナーエレクト紹介	大会議長	L. 伊東 隆志
14. 第一副地区ガバナーエレクト紹介	大会議長	L. 伊東 隆志
15. 第二副地区ガバナーエレクト紹介	大会議長	L. 伊東 隆志
16. 閉会宣言・閉会ゴング	大会議長	L. 伊東 隆志

ライオンズクラブ国際協会331-B地区
第71回地区年次大会
代議員総会 運営委員会構成

大会議長	地区ガバナー	L.伊 東 隆 志
大会副議長	前地区ガバナー	L.藤 原 回 向
大会副議長	第一副地区ガバナー	L.大 島 尚 久
大会副議長	第二副地区ガバナー	L.広 瀬 寛 人
大会幹事		L.二 宮 雄 一
大会会計		L.山 田 兼 士
大会顧問	地区名誉顧問会議長	L.中 谷 宣 巨
大会顧問	地区名誉顧問会	L.阿 部 昭
大会顧問	地区名誉顧問会	L.香 川 俊 雄
大会顧問	地区名誉顧問会	L.奥 山 壽 雄
大会顧問	地区名誉顧問会	L.山 田 正 昭
大会顧問	地区名誉顧問会	L.佐 藤 信 雄
大会顧問	地区名誉顧問会	L.井ノ浦 義 明

委員会	委 員 長	副 委 員 長	委員・◎司会○記録(設営・案内)
資格審査	地区ガバナー L.伊東 隆志	地区会計 L.山田 兼士 第1R第1Z・ZC L.佐々木良吉 第1R第2Z・ZC L.足立 計昌	◎大会副幹事 L.田尾 忠正
議事運営	大会幹事 L.二宮 雄一	第3R第1Z・ZC L.豊田 典正 第3R第2Z・ZC L.太田 好啓 第5R第1Z・ZC L.脇坂 敏夫 第5R第2Z・ZC L.松平 範慶	◎大会副幹事 L.松田 佳陽 ○大会副幹事 L.辻 太郎
指名選挙	地区GSTコーディネーター L.喜多 武彦	第4R第1Z・ZC L.柳澤 豊 第4R第2Z・ZC L.明石 欽弥 第4R第3Z・ZC L.藤田 隆明	
決 議	地区GETコーディネーター L.村山 聡	GLTコーディネーター L.広瀬 寛人 第2R第1Z・ZC L.高橋 昭典 第2R第2Z・ZC L.菅野 道	

ライオンズクラブ国際協会331-B地区 第71回地区年次大会 決議委員会・分科会構成

【第一分科会】

分 科 会	委 員 長	副 委 員 長	委員・◎司会○記録	顧 問
会計 会則 アラート	地区GLT コーディネーター L.広瀬 寛人	大会会計 L.山田 兼士 会則・コンプライアンス委員長 L.白川 利幸 レオ・青少年育成 アラート、YCE 委員長 L.浅野 敬一 第1R第1Z・ZC L.佐々木 良吉 第1R第2Z・ZC L.足立 計昌 地区WYPTコーディネーター L.大津 幸三	◎大会副幹事 L.田尾 忠正 ○大会副幹事 L.鳥越 孝枝	L.中谷 宣巨 L.井ノ浦義明

【第二分科会】

分 科 会	委 員 長	副 委 員 長	委員・◎司会○記録	顧 問
OSEAL フォーラム 運営特別 国際大会・国際協調 薬物乱用防止・献血献眼 長期計画リサーチ	長期計画リサーチ委員長 L.藤原 回向	大会幹事 L.二宮 雄一 OSEAL フォーラム 運営特別委員長 L.大島 尚久 国際大会・国際協調委員長 L.岡村 廉明 薬物乱用防止・献血献眼委員長 L.山中 大輔 第2R第1Z・ZC L.高橋 昭典 第2R第2Z・ZC L.菅野 道 第3R第1Z・ZC L.豊田 典正 第3R第2Z・ZC L.太田 好啓	◎大会副幹事 L.松田 佳陽 ○大会副幹事 L.笈田 壽一 ○大会副幹事 L.大原 崇義 国際大会・国際協調副委員長 L.小田 大典 薬物乱用防止・献血献眼副委員長 L.小滝 愛子	L.香川 俊雄 L.佐藤 信雄

【第三分科会】

分 科 会	委 員 長	副 委 員 長	委員・◎司会○記録	顧 問
レオ・青少年育成 Y C E マーケティング・I T 平和ポスターコンテスト	地区GMT コーディネーター L. 矢吹 定夫	マーケティング・I T委員長 L. 伊藤 慎司 平和ポスターコンテスト委員長 L. 折笠 充 レオ・青少年育成 アラート、YCE副委員長 L. 佐藤 豪一 レオ・青少年育成 アラート、YCE副委員長 L. 小野寺一史 第4 R 第1 Z・Z C L. 柳澤 豊 第4 R 第2 Z・Z C L. 明石 欽弥 第4 R 第3 Z・Z C L. 藤田 隆明 第5 R 第1 Z・Z C L. 脇坂 敏夫 第5 R 第2 Z・Z C L. 松平 範慶	◎大会副幹事 L. 辻 太郎 ○大会副幹事 L. 寺中 賢武 レオ・青少年育成 アラート、YCE副委員長 L. 清野 芳明 マーケティング・I T副委員長 L. 板垣 浩 平和ポスターコンテスト副委員長 L. 上野 恭裕	L. 阿部 昭 L. 奥山 壽雄 L. 山田 正昭

第71回地区年次大会議事規則

1. 331-B 地区第 71 回地区年次大会は、地区大会に参加した地区ガバナー、前・元地区ガバナー及びクラブ代議員をもって構成する。キャビネット役員は大会に参加し発言する事は出来るが、クラブ代議員でない限り投票する事は出来ない。その他の会員及び同伴者は、大会に参加する事は出来るが、発言したり投票したりする事は出来ない。
2. 有資格代議員（現・前・元地区ガバナー）を除くクラブ代議員は、クラブ会長が署名をした資格証明書をあらかじめ定められた期限までに資格審査委員会に提出し、資格を確認されなければならない。
3. 大会議長（以下議長という）には地区ガバナー、大会副議長には副地区ガバナー、大会幹事にはキャビネット幹事、大会会計にはキャビネット会計がこれに当たる。議長は、その他の大会役員を任命する。
4. 議長は、下記の委員会及び分科会を設け、その委員長及び副委員長（更に必要な場合は顧問）を任命する。また、委員をキャビネット構成員の中から任命できるが、クラブ代議員でない場合は、司会・記録以外に発言・投票は出来ない。
 - （1）資格審査委員会
 - （2）議事運営委員会
 - （3）指名・選挙委員会
 - （4）決議委員会

（但し、議長は決議委員会を次の分科会に分けることができる）

第一分科会	会計、会則、コンプライアンス、アラート
第二分科会	国際大会・国際協調、薬物乱用防止・献血献眼、長期計画リサーチ
第三分科会	レオ・青少年育成、Y C E、マーケティング・I T、 平和ポスターコンテスト
5. 代議員の委員会及び分科会の所属は、議長がこれを定める。
6. 各委員会及び分科会の委員長は、その議事を主導し審査結果を大会に報告する。
7. 決議は全て、出席し投票した代議員全員の過半数をもって決する。可否同数の場合は議長の裁定による。クラブ代議員が投票出来ない時は補欠がこれに代わる。
 - （ア）議案はあらかじめ文書をもってキャビネットに提出する。キャビネットはそれを検討の上、大会議案を決定し、大会開催の2週間前までに各クラブに通知する。

それ以外の方法で提出された議案を審議しようとするときは、大会に出席したすべての代議員の3分の2以上の同意を必要とする。但し、その議案は前もって文書で議長に提出しなければならない。

8. 提出理由の説明及び討議は、1人3分を超えてはならない。但し、大会では議長、委員会及び分科会では委員長が特に必要と認めた場合はこの限りでない。
9. 次期地区ガバナー及び次期第一・第二副地区ガバナーの選出は次の方法によるものとし、選挙及び信任投票は指名・選挙委員会が管理する。
 - (1) 次期地区ガバナーの選出
 - (イ) 候補者の無記名信任投票を行う。
 - (ロ) 過半数の得票をもって次期地区ガバナーとする。
 - (ハ) 過半数の得票が得られなかった場合は空席が生じるものとし、国際付則第9条6項(d)が適用される。
 - (2) 次期第一副地区ガバナーの選出
 - (イ) 候補者無記名投票を行う。
 - (ロ) 過半数の得票をもって次期第一副地区ガバナーとする。
 - (ニ) 過半数の得票が得られなかった場合は空席が生じるものとし、国際付則第9条6項(d)が適用される。
 - (3) 次期第二副地区ガバナーの選出
 - (イ) 候補者無記名投票を行う。
 - (ロ) 過半数の得票者をもって次期第二副地区ガバナーとする。
 - (ホ) 過半数の得票が得られなかった場合は空席が生じるものとし、国際付則第9条6項(d)が適用される。
10. 別に定めがない限り、議事手続きは「ロバート議事規則」による。
11. 複合地区内の全ての準地区で一様に可決、あるいは一様に否決された場合は賛・否いずれにせよ複合地区の合意とみなし、複合地区大会では改めて審議しない。
12. 準地区大会の決定が可・否両方に分かれた場合には複合地区大会において改めて審議し、全ての準地区はその決定に従う。

「付則」

その他の代議員の資格については、国際付則第9条3項に準ずる。算定時期については大会準備の都合上、第71回地区年次大会は2025年1月末現在の会員数に基準を変更する。



代議員総会運営議案

資格審査委員会

委員長	地区ガバナー	L. 伊東 隆志
副委員長	大会会計	L. 山田 兼士
〃	第1 R 第1 Z・Z C	L. 佐々木良吉
〃	第1 R 第2 Z・Z C	L. 足立 計昌

「議 案」 本大会に代議員派遣有資格クラブ数 68 クラブと、その派遣代議員定数及び出席代議員の資格審査について

「報告事項」 本大会における代議員派遣有資格クラブ数は現在 68 クラブ、また 331- B 地区第 71 回地区年次大会議事規則による 1 月末現在会員数は、1,903 名である。派遣代議員数は、地区ガバナー及び、前・元地区ガバナーを含む代議員総数 146 名で、本日出席代議員は、_____名である。
資格審査の確認は、331-B 地区第 71 回地区年次大会議事規則 2 項による。

議事運営委員会

委員長	大会幹事	L. 二宮 雄一
副委員長	第3 R 第1 Z・Z C	L. 豊田 典正
〃	第3 R 第2 Z・Z C	L. 太田 好啓
〃	第5 R 第1 Z・Z C	L. 脇坂 敏夫
〃	第5 R 第2 Z・Z C	L. 松平 範慶

「議 案」 331-B 地区第 71 回地区年次大会議事規則の定めによる本大会議事運営について

「報告事項」 複合地区会則第 21 条第 5 項の規定により、331-B 地区第 2 回キャビネット会議において決定された 331-B 地区第 71 回地区年次大会議事規則に基づき、本大会の議事運営を行うものとする。

指名選挙委員会

委員長	G S T コーディネーター	L. 喜多 武彦
副委員長	第4 R 第1 Z・Z C	L. 柳澤 豊
〃	第4 R 第2 Z・Z C	L. 明石 欽弥
〃	第4 R 第3 Z・Z C	L. 藤田 隆明

「議案第 1 号」 2025 年～ 2026 年度 331-B 地区ガバナーの選出に関わる信任投票実施の件について

(説 明) 2025 年～ 2026 年度 331-B 地区ガバナー指名選挙には、第 1 R 第 1 Z 釧路みなとライオンズクラブ所属の L. 大島尚久のみが立候補届出書を提出、受理。第 3 回キャビネット会議において資格審査の結果、関係規則の全てが満たされており、L. 大島尚久を次期地区ガバナー候補者として承認した。よって、331-B 地区第 71 回地区年次大会議事規則第 9 (1) に基づき信任投票の実施を求めるものとする。

「議案第 2 号」 第 72 回地区年次大会開催地、並びにホストクラブ決定の件について

(説 明) 次期地区年次大会は 釧路市で、ホストクラブは、釧路 LC、白糠 LC、標茶 LC、釧路みなと LC、釧路湿原 LC、根室 LC、羅臼 LC、釧路ぬさまい LC、中標津 LC、釧路ゆうやけ LC 計 10 クラブが第 3 回キャビネット会議で承認されている。

「議案第 3 号」 2025 年～ 2026 年度 331-B 地区第一副地区ガバナーの選出に関わる信任投票実施の件について

(説 明) 2025 年～ 2026 年度 331-B 地区第一副地区ガバナーの選挙には、第 2 R 第 2 Z 富良野ライオンズクラブ所属の L. 広瀬寛人のみが立候補届出書を提出、受理。第 3 回キャビネット会議において資格審査の結果、関係規則の全てが満たされており、L. 広瀬寛人を次期第一副地区ガバナー候補者として承認した。よって、331-B 地区第 71 回地区年次大会議事規則第 9 (2) に基づき、信任投票の実施を求めるものとする。

「議案第 4 号」 2025 年～ 2026 年度 331-B 地区第二副地区ガバナーの選出に関わる信任投票実施の件について

(説 明) 2025 年～ 2026 年度 331-B 地区第二副地区ガバナーの選挙には、第 4 R 第 1 Z 留萌みなとライオンズクラブ所属の L. 柳澤豊のみが立候補届出書を提出、受理。第 3 回キャビネット会議において資格審査の結果、関係規則の全てが満たされており、L. 柳澤豊を次期第二副地区ガバナー候補者として承認した。よって、331-B 地区第 71 回地区年次大会議事規則第 9 (3) に基づき、信任投票の実施を求めるものとする。



決 議 委 員 会

委 員 長 G E Tコーディネーター L. 村山 聡

副委員長 G L Tコーディネーター L. 広瀬 寛人

〃 第2 R 第1 Z・Z C L. 高橋 昭典

〃 第2 R 第2 Z・Z C L. 菅野 道

「議 案」 第71回地区年次大会の決議事項は各分科会の審議結果の報告に基づき、本代議員総会において決定する。

(分科会構成) 第1分科会は、会計、会則、コンプライアンス、アラート委員会に関わる議題とする。

第2分科会は、長期計画リサーチ、国際大会・国際協調、薬物乱用防止・献血献眼委員会に関わる議題とする。

第3分科会は、レオ・青少年育成、Y C E、マーケティング・I T、平和ポスターコンテスト委員会に関わる議題とする。

第1分科会

◆審議事項

「議案第1号」

地区年次大会における決算審議に関する件について

(説明)

第71回地区年次大会における2024年～2025年度331-B地区会計決算報告は、大会期日が会計年度途中のため、決算審議は次期第1回キャビネット会議に権限を委譲致したい。よって、大会承認を求めるものである。

「議案第2号」

地区費等徴収金額の件について

(説明)

2025年～2026年度331—B地区の地区費・地区大会費・献眼運動推進費については、今期と同額と致したい。よって、大会承認を求めるものである。

(内訳)

地区費 会員一人当たり 月額 1,100円

地区大会費 会員一人当たり 月額 200円

(特別会計)

献眼運動推進費 会員一人当たり 年額 500円

(ただし、子家族会員については上記地区費等の徴収はしない)

◆報告事項

◇会計

キャビネット会計 L. 山田 兼士

① 2023～2024年度 331-B地区決算報告について

② 2023～2024年度 331-B地区年次大会決算報告について

③ 2024～2025年度 331-B地区一般会計中間報告について

④ 国際会費について

2025～2026年度 会員一人当たり \$ 50

◇会則、コンプライアンス委員会

委員長 L. 白川 利幸

◇アラート委員会

委員長 L. 浅野 敬一

◆意見交換

上記事項及びその他の諸問題について



331 － B 地区
前年度会計決算報告並びに承認を求める件

別紙の通り331 － B 地区 一般会計・特別会計並びに年次大会会計
(2023年7月1日から2024年6月30日) の決算報告を致します。

2024年7月3日

ライオンズクラブ国際協会331-B地区

前地区ガバナー

L. 藤原 回向



前キャビネット幹事

L. 中野 修吾



前キャビネット会計

L. 梅村 俊範



331－B地区一般会計貸借対照表

(2024年6月30日現在)

(単位：円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
預 金	9,375,326	余 剰 金	9,375,326
合 計	9,375,326	合 計	9,375,326

331－B地区一般会計収支決算書

(2023年7月1日～2024年6月30日)

【収入の部】

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
前年度繰越金	12,522,906	12,522,906	大会費 315,786 含む
前キャビネットより 運営準備前受金	5,000,000	5,000,000	0
地 区 費	23,100,000	23,580,700	480,700
地 区 大 会 費	4,200,000	4,287,400	87,400
オセアル負担金	0	1,772,000	1,772,000
雑 収 入	0	335	335
合 計	44,822,906	47,163,341	2,340,435

前年度会計決算報告 (2023年7月1日～2024年6月30日)

LIONS CLUBS
INTERNATIONAL
DISTRICT 331-B



【支出の部】

(単位：円)

科 目	本年度予算額 (ア)	決 算 額 (イ)	増 減 (イーア)
会 議 費 A	2,000,000	2,405,955	405,955
会 議 費 B	968,400	968,400	0
旅 費 A	1,700,000	2,113,605	413,605
旅 費 B	900,840	815,730	△ 85,110
通 信 費 A	800,000	1,144,548	344,548
通 信 費 B	115,200	115,200	0
印 刷 費 A	1,200,000	1,492,470	292,470
印 刷 費 B	115,200	115,200	0
人 件 費	6,000,000	6,862,445	862,445
事 務 所 費	1,320,000	1,322,640	2,640
光 熱 費	400,000	460,462	60,462
消 耗 品 費	300,000	212,231	△ 87,769
備 品 費	1,300,000	1,056,513	△ 243,487
贈 呈 費	700,000	762,490	62,490
慶 弔 費	500,000	526,316	26,316
交 際 費	100,000	77,360	△ 22,640
新 入 会 員 促 進 費	200,000	360,330	160,330
引 継 費	280,000	298,000	18,000
雑 費 A	500,000	430,541	△ 69,459
雑 費 B	464,800	464,800	0
広 報 費	1,600,000	1,612,090	12,090
研 修 費	300,000	397,196	97,196
ア ワ ー ド 費	250,000	151,230	△ 98,770
青 少 年 育 成 費	800,000	1,047,550	247,550
地 区 大 会 費	4,200,000	4,603,186	403,186
各 種 委 員 会 事 業 費	200,000	94,330	△ 105,670
次 期 C A B 前 渡 金	5,000,000	5,000,000	0
YCEキャンプ負担金	300,000	450,990	150,990
GATコーディネーター費	700,000	362,198	△ 337,802
G M A 事 業	500,000	292,009	△ 207,991
予 備 費	200,000	0	△ 200,000
オセアルフォーラム負担金	0	1,772,000	1,772,000
余 剰 金	10,908,566	9,375,326	△ 1,533,240
合 計	44,823,006	47,163,341	2,340,335

331－B地区第70回地区年次大会収支決算書

(2023年7月1日～2024年6月30日)

【収入の部】

(単位：円)

科 目	予 算 額 (A)	実 行 額 (B)	増 減 (B-A)	備 考
前 年 度 繰 越	0	315,786	315,786	
地 区 大 会 費	4,200,000	4,287,400	87,400	上期2,149,200 下期2,138,200
大会式典登録料	4,000,000	3,305,000	△ 695,000	5,000円×661名
晩 餐 会 登 録 料	10,500,000	8,415,000	△ 2,085,000	15,000円×561名
出 店 料	20,000	25,000	5,000	5,000円×3団体 10,000円×1団体
雑 収 入	0	880,003	880,003	預金利息、パッチ収入(470,000)、 助成金(300,000)、ご祝儀(110,000)
収 支 合 計	18,720,000	17,228,189	△ 1,491,811	

【支出の部】

(単位：円)

科 目	予 算 額 (A)	実 行 額 (B)	増 減 (B-A)	備 考
総 務 部 会	4,800,000	4,935,265	135,265	事務局給料 会議費 広告 記録他
大会記念誌部会	1,000,000	944,152	△ 55,848	記念誌印刷他
式 典 部 会	2,000,000	2,519,214	519,214	会場使用料 企画演出料 看板他
晩 餐 会 部 会	10,500,000	8,440,132	△ 2,059,868	会場設営費 料理全般他
予 備 費	420,000	0	△ 420,000	
剰 余 金	0	389,426	389,426	
支 出 合 計	18,720,000	17,228,189	△ 1,491,811	

331－B地区特別会計（A：緊急援助資金）

収支報告書

(2023年7月1日～2024年6月30日)

(単位：円)

科 目	収 入	支 出	備 考
(地区運用基金)			
前年度より繰越金		2,791,939	
会 員 収 入		2,303,600	1,300円×1,772名
緊急援助資金	3,550,000		緊急援助資金 3,550,000円
支払手数料			
雑 収 入		17	預金利息
残 高	1,545,556		
合 計	5,095,556	5,095,556	

貸借対照表

(2023年7月1日～2024年6月30日)

(単位：円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
預 金	9,375,326	余 剰 金	9,375,326
合 計	9,375,326	合 計	9,375,326

331－B地区特別会計（B：献眼運動推進費）

収支報告書

(2023年7月1日～2024年6月30日)

(単位：円)

科 目	収 入	支 出	備 考
前年度より繰越金		1,481,076	
会 員 収 入		886,000	500円×1,772名
献眼運動推進事業費	700,330		旭川医大アイバンク運営資金700,000円 振込手数料330円
雑 収 入		9	預金利息
残 高	1,666,755		
合 計	2,367,085	2,367,085	

貸借対照表

(2023年7月1日～2024年6月30日)

(単位：円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
現 金		献眼運動推進事業費	1,666,755
普 通 預 金	1,666,755		
合 計	1,666,755	合 計	1,666,755

3 3 1 - B 地区会計収支監査報告書

会計報告について監査の結果を下記の通りに報告致します。

記

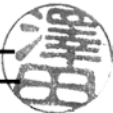
現金出納・預金出納・現金預金残高並びに諸帳簿・証拠書類等の
記帳は正確且つ適正に処理されている事を認めます。

2024年7月3日

地区会計監査委員

L. 伊 東 隆 志 

地区会計監査委員

L. 澤 田 礼 二 



331－B地区
第70回地区年次大会会計収支監査報告

会計報告について監査の結果を下記の通りに報告致します。

記

現金出納・預金出納・現金預金残高並びに諸帳簿・証拠書類等の
記帳は正確且つ適正に処理されている事を認めます。

2024年7月3日

大会会計監査委員

L. 今村 光 壹 

大会会計監査委員

L. 秋元 正 智 

大会会計監査委員

L. 山本 秀 一 

331 - B 地区一般会計中間報告書

(2024年7月1日～2024年12月31日)

【収入の部】

(単位：円)

科 目	本年度予算額	執 行 額	備 考
前 年 度 繰 越 金	9,764,752	9,764,752	年次大会 389,426 円含む
運 営 準 備 前 受 金	5,000,000	5,000,000	
地 区 費	21,885,600	11,050,600	
地 区 大 会 費	3,979,200	2,009,200	
3 役スクール事務局研修	462,000	2,041,000	
オセアルフォーラム負担金	1,658,000	1,658,000	
そ の 他	0	360	利息 360円
合 計	42,749,552	31,523,912	

【支出の部】

(単位：円)

科 目	本年度予算額	執 行 額	備 考
会 議 費 A	2,000,000	505,043	
会 議 費 B	968,400	930,000	
旅 費 A	1,700,000	2,277,260	
旅 費 B	900,000	326,400	
通 信 費 A	800,000	578,767	
通 信 費 B	115,200	108,800	
印 刷 費 A	1,400,000	1,407,450	
印 刷 費 B	115,200	108,800	
人 件 費	6,000,000	1,382,000	
事 務 所 費	1,200,000	48,000	
光 熱 費	400,000	0	
消 耗 品 費	250,000	80,360	
備 品 費	500,000	440,090	
贈 呈 費	700,000	100,000	
慶 弔 費	500,000	145,000	
交 際 費	100,000	430,000	
新 入 会 員 促 進 費	200,000	0	
引 継 費	280,000	0	
雑 費 A	450,000	333,080	
雑 費 B	464,800	442,400	
広 報 費	1,600,000	887,480	
研 修 費	462,000	0	
ア ワ ー ド 費	200,000	0	
青 少 年 育 成 費	1,200,000	825,000	
地 区 大 会 費	4,368,626	402,513	
各 種 委 員 会 事 業 費	200,000	14,320	
次 期 C A B 前 渡 金	5,000,000	0	
Y C E キャンプ費	500,000	0	
G A T コーディネーター費	600,000	0	
G M A 事 業 費	400,000	0	
地 区 大 会 費	0	2,009,200	別会計へ振替
予 備 費	200,000	0	
オセアルフォーラム負担金	1,658,000	0	
3 役スクール事務局研修		1,976,608	
仮 払 金		3,873,640	
剰 余 金	7,317,326	0	
残 高	0	11,891,701	
合 計	42,749,552	31,523,912	

331 - B地区特別会計 (B: 献眼運動推進費)
収支中間報告書
(2024年7月1日～2024年12月31日)

(単位: 円)

科 目	支 出	収 入	摘 要
前年度より繰越金		1,666,755	
会 員 収 入		829,000	
献眼運動推進事業費			
雑 収 入			
残 高	2,495,755		
合 計	2,495,755	2,495,755	

貸 借 対 照 表
(2024年7月1日～2024年12月31日)

(単位: 円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
現 金		献眼運動推進事業費	2,495,755
普 通 預 金	2,495,755		
雑 収 入			
合 計	2,495,755	合 計	2,495,755

331 - B地区特別会計 (C: 地区大会会計)
収支中間報告書
(2024年7月1日～2024年12月31日)

(単位: 円)

科 目	支 出	収 入	摘 要
一般会計より		2,009,200	
旅 費 交 通 費	25,920		
残 高	1,983,280		
合 計	2,009,200	2,009,200	

貸 借 対 照 表
(2024年7月1日～2024年12月31日)

(単位: 円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
現 金	0	一 般 残 高	1,983,280
普 通 預 金	1,983,280	借 入 金	0
仮 払 金	0	仮 受 金	0
合 計	1,983,280	合 計	1,983,280

一般会計中間報告

(2024年7月1日～2024年12月31日)

331－B地区一般会計貸借対照表

(2024年7月1日～2024年12月31日)

(単位：円)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
現金	0	一般残高	14,042,949
普通預金	11,891,701	未払金 オセアルフォーラム負担金	1,658,000
仮払金	3,873,640	仮受金	64,392
合計	15,765,341	合計	15,765,341

331－B地区特別会計（A：緊急援助資金）

収支中間報告書

(2024年7月1日～2024年12月31日)

(単位：円)

科目	支出	収入	摘要
(地区運用基金)			
前年度より繰越金		1,545,556	
会員収入		3,316,000	
緊急援助資金			
雑収入			
残高	4,861,556		
合計	4,861,556	4,861,556	

貸借対照表

(2024年7月1日～2024年12月31日)

(単位：円)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
現金		地区緊急援助資金	4,861,556
普通預金	4,861,556		
合計	4,861,556	合計	4,861,556



ライオンズクラブ国際協会 331 - B 地区

一般会計・特別会計収支中間決算報告書

以下の通り、331 - B 地区一般会計及び特別会計収支中間決算
(2024 年 7 月 1 日～2024 年 12 月 31 日)の報告を申し上げます。

2025 年 1 月 9 日

ライオンズクラブ国際協会 331 - B 地区

地区ガバナー

L. 伊東 隆志



地区キャビネット幹事

L. 二宮 雄一



地区キャビネット会計

L. 山田 兼士



(議案第 5 号)

ライオンズクラブ国際協会 331 - B 地区

地区会計中間監査報告書

現金出納、預金出納、預金残高並びに諸帳簿、証拠書類の記帳は、
正確かつ適正に処理されていることを認めます。

2025 年 1 月 9 日

ライオンズクラブ国際協会 331 - B 地区

地区会計監査委員

L. 松本 恵治



地区会計監査委員

L. 中川 弘貴



第1分科会 代議員名簿

【代 議 員】

氏 名	クラブ名
中 谷 宣 巨	釧 路
高 橋 清 美	白 糠
寛 陽 介	標 茶
佐々木 良 吉	釧 路 み な と
大 津 幸 三	釧 路 み な と
中 川 大 策	釧 路 湿 原
足 立 計 昌	根 室
前 田 益 夫	釧 路 め さ ま い
板 野 哲 身	中 標 津
森 末 一 彦	釧 路 ゆ う や け
山 口 光 信	釧 路 ゆ う や け
吉 村 雄 治	旭 川
片 岡 幸 人	旭 川 大 雪
成 田 智 裕	旭 川 大 雪
大 谷 隆 士	旭 川 平 和
菊 地 正 修	当 麻
小 岩 昭 市	東 川
早 川 直 久	旭 川 中 央
伊 賀 裕 治	富 良 野
広 瀬 寛 人	富 良 野
貝 谷 義 直	旭 川 東
須 山 松 治	上 富 良 野
高 野 達 也	旭川ナナカマド
秦 幸 司	旭川バーチャル
氏 家 宏 之	音 更
牧 野 悟	音 更
小笠原 茂 人	豊 頃
大 上 真 一	幕 別
山 本 哲 也	帯 広 か し わ
中 村 哲 郎	上 士 幌

【補 欠】

氏 名	クラブ名
武 田 真 使	釧 路 み な と
為 国 克 彦	釧 路 み な と
残 間 和 義	釧 路 湿 原
久保田 庸 久	釧 路 め さ ま い
片 岡 宏 文	旭 川 大 雪
浜 岡 隆 一	旭 川 大 雪
星 忠 克	旭 川 平 和
田 縁 憲 恭	旭 川 中 央
勝 山 勉	旭 川 東
山 内 一 幸	帯 広 か し わ
中 橋 功 太	上 士 幌
丹 羽 善 則	留 萌 み な と
吉 政 淳	遠 別
秋 川 祥 雄	歌 登
長谷川 美保子	美 幌
横 山 秀 喜	美 幌

【オブザーバー】

氏 名	クラブ名
佐 藤 祐 雅 子	釧 路 み な と
杉 本 隆 志	中 標 津
田 中 香 織	旭 川 中 央
梅 原 重 雄	羽 幌
東 原 義 幸	留 萌 み な と
妻 鳥 道 明	歌 登

氏 名	クラブ名
太 田 孝次郎	芽 室
五十嵐 勉	帯 広 鈴 蘭
井 上 孝 也	留 萌
橋 本 修 司	羽 幌
長 内 敬 憲	留 萌 み な と
草 刈 忠 和	遠 別
風 間 慶	増 毛
村 山 聡	名 寄
佐 藤 政 美	士 別
菅 原 清 隆	士 別
本 間 修 三	稚 内
七 戸 忠 之	歌 登
井ノ浦 義 明	稚 内 北 斗
鳥 取 広 志	稚 内 北 斗
三 上 聖 二	稚 内 北 斗
山 田 兼 士	北 見
鈴 木 栄 樹	置 戸
鈴 木 敏 文	北 見 白 樺
岩 村 芳 彦	北 見 白 樺
岸 豊 光	紋別オホーツク
片 山 浩 幸	網 走
松 村 訓 裕	美 幌
伊 藤 泰 広	津 別
米 倉 孝 志	北 見 中 央
中 山 寿 一	網 走 桂



第 2 分 科 会

◆報告事項

◇OSEALフォーラム運営特別委員会

委員長 L. 大 島 尚 久

- ・2025年第62回オセアルフォーラム札幌大会開催に関わる会員の負担金について

(説明)

2023年度から2025年度の3年間、毎年度一人1,000円（3年間で一人合計3,000円）を徴収する事になっております。

引き続き、3年目となります2025-2026年度もよろしくお願い致します。

◇長期計画リサーチ委員会

委員長 L. 藤 原 回 向

- ・キャビネット引受リジョンおよびガバナーローテーション予定について

◇国際大会・国際協調委員会

委員長 L. 岡 村 廉 明

- ・第107回オーランド国際大会について

◇薬物乱用防止・献血献眼委員会

委員長 L. 山 中 大 輔

- ・薬物乱用防止教育認定講師養成講座について

◆意見交換

上記事項及びその他の諸問題について

第2分科会 代議員名簿

【代 議 員】

氏 名	クラブ名
藤 井 芳 和	釧 路
熊 谷 一 行	標 茶
大 島 尚 久	釧 路 み な と
河 田 理	根 室
杉 本 隆 英	釧 路 ぬ さ ま い
江 口 智 子	中 標 津
阿 部 将 和	釧 路 ゆ う や け
合 林 拓 郎	釧 路 ゆ う や け
廣 瀬 勝	旭 川
酒 井 崇 徳	旭 川 大 雪
川 田 吉 顕	旭 川 平 和
阿 木 潔	愛 別
高 橋 昭 典	東 川
佐 藤 信 雄	富 良 野
奥 野 裕 史	富 良 野
澁 谷 正 文	富 良 野
久 保 拓 哉	上 富 良 野
菅 野 道	旭川ナナカマド
野 村 良 久	旭川バーチャル
豊 田 典 正	帯 広
藤 田 直 美	本 別
大 熊 秀 之	音 更
水 澤 一 廣	浦 幌
大 谷 友 則	豊 頃
番 場 規 真	帯 広 か し わ
香 川 俊 雄	帯 広 中 央
成 田 貢	帯 広 中 央
太 田 好 啓	帯 広 平 原
関 谷 光 丸	上 士 幌
小 川 豊	芽 室

【補 欠】

氏 名	クラブ名
宮 崎 博 好	釧 路
品 川 聡 恵	釧 路 ぬ さ ま い
松 野 史 寛	釧 路 ゆ う や け
工 藤 泰 宏	旭 川
近 藤 洋 司	旭 川 大 雪
重 綱 博 美	旭 川 平 和
西 脇 務	旭川ナナカマド
石 邑 義 幸	帯 広
北 村 了 二	帯 広 か し わ
安 江 範 鎮	帯 広 平 原
小 堀 雄 二	上 士 幌
小 路 泰 孝	留 萌 み な と
山 下 悟	遠 別
棚 橋 秀 彦	増 毛
和 田 健	美 深
今 井 康 暁	東北海道WEB
桐 山 国 夫	美 幌

【オブザーバー】

氏 名	クラブ名
大 島 三記子	釧 路 み な と
石 田 健太郎	釧 路 み な と
平 野 耕 二	根 室
細 谷 俊 輔	中 標 津
行 町 豪	羽 幌
宮 下 泰 裕	留 萌 み な と
棚 橋 初 美	増 毛
渡 邊 武 男	美 深
水 上 隆	津 別



第 3 分 科 会

◆報告事項

◇レオ・青少年育成委員会

副委員長 L. 佐藤 豪一

・3レオクラブ活動の現況について

◇YCE委員会

副委員長 L. 小野寺 一史

・今後のYCE派遣・受入の活動予定について

◇マーケティング・IT委員会

委員長 L. 伊藤 慎司

・エコー誌発行について

◇平和ポスターコンテスト委員会

委員長 L. 折笠 充

・2024年度平和ポスターコンテストについて

◆意見交換

上記事項及びその他の諸問題について

第3分科会 代議員名簿

【代 議 員】

氏 名	クラブ名
川 人 正 和	釧 路
小野寺 一 史	標 茶
木 村 宏 幸	釧 路 み な と
山 田 正 昭	釧 路 め さ ま い
地久間 正 寛	釧 路 め さ ま い
万 字 達	旭 川 大 雪
高 橋 聡	旭 川 平 和
堀 家 直 利	愛 別
小 坂 尚 志	東 川
菊 田 和 雄	富 良 野
金 子 益 三	上 富 良 野
長 田 敏 幸	旭川ナナカマド
磯 部 正 博	帯 広
大和田 収	本 別
松 本 光 伸	音 更
長谷川 隆 照	幕 別
加 藤 礼 市	帯 広 中 央
清 野 芳 明	帯 広 平 原
小 林 孝 彦	羽 幌
柳 澤 豊	留 萌 み な と
細 川 丈 伺	増 毛
明 石 欽 弥	名 寄
阿 部 昭	士 別
松ヶ平 哲 幸	士 別
藤 田 隆 明	稚 内
宮 本 栄	幌 延
柳 浦 政 春	稚 内 北 斗
今 野 恵理子	北 見
高 橋 省 哉	遠 軽
三 谷 勝 利	北 見 白 樺

【補 欠】

氏 名	クラブ名
長谷川 伸	釧 路
大 森 一 道	釧 路 み な と
有 田 高 行	釧 路 め さ ま い
本 田 和 行	旭 川 大 雪
小 林 英 一	旭 川 平 和
中 村 吉 明	富 良 野
梅 田 司	旭川ナナカマド
本 田 雅 弘	帯 広
田 邊 宏	帯 広 平 原
原 田 則 子	留 萌 み な と
松 尾 一 夫	湧 別
中 村 友 哉	美 幌
西 川 利 則	美 幌

【オブザーバー】

氏 名	クラブ名
若 月 聖 美	釧 路 み な と
岡 部 克 寛	羽 幌
梅 田 三 樹	留 萌 み な と
野 口 智 史	津 別



LCIF 拠出金一覧

(2024年3月～2025年3月)

R	Z	クラブ名	クラブ献金	M J F 一括献金		
				MJF献金氏名	MJF回数	拠出年月日
1	1	釧路	○			
		白糠				
		標茶	○			
		釧路みなと	○	L.井田正昭	22	2024.09
				L.大島尚久	7	2024.09
	2	釧路湿原	○			
		根室	○	L.足立計昌	1	2024.10
		羅臼	○			
		釧路ぬさまい	○	L.高瀬力	7	2024.03
				L.中井厚志	8	2024.03
				L.山田正昭	16	2024.03
				L.杉本隆英	8	2024.03
				L.久保田庸央	2	2024.03
				L.品川聡恵	1	2024.03
				L.赤川俊通	2	2024.03
		中標津	○			
		釧路ゆうやけ				
2	1	旭川	○	L.工藤泰宏	7	2024.07
		旭川大雪	○	L.猪股武	1	2024.07
		旭川平和	○			
		当麻	○			
		愛別	○			
		東川	○			
		比布				
	2	旭川中央	○			
		富良野	○	L.佐藤信雄	13	2024.07
				L.奥野裕史	4	2024.07
				L.広瀬寛人	6	2024.09
				L.坂本齐	2	2025.02
		旭川東	○			
		上富良野	○			
		旭川ナナカマド	○			
		旭川クリスタル				
		旭川バーチャル				

R	Z	クラブ名	クラブ献金	M J F 一 括 献 金		
				MJF献金氏名	MJF回数	拠出年月日
3	1	帯 広	○			
		本 別	○			
		十 勝 池 田				
		音 更	○			
		浦 幌	○			
		豊 頃	○			
		幕 別	○			
		帯 広 か し わ	○	L.小 森 唯 永	60	2025.01
				L.山 本 哲 也	7	2025.01
				L.太 田 勲	7	2025.01
				L.平 尾 徳 實	7	2025.01
				L.貝 守 良 光	2	2025.01
				L.山 本 次 幸	1	2025.01
	2	帯 広 中 央	○			
		新 得	○			
		帯 広 平 原	○	L.矢 吹 定 夫	3	2024.06
				L.太 田 好 啓	2	2024.06
				L.三 谷 暁	1	2024.06
		鹿 追				
		上 士 幌	○			
		芽 室	○			
		十 勝 清 水				
4	1	留 萌	○	L.今 野 正 一	1	2024.03
		羽 幌	○			
		留 萌 み な と	○	L.大 石 昌 明	4	2024.03
				L.柳 澤 豊	5	2024.08
		遠 別	○			
		増 毛	○			
	2	名 寄	○	L.村 山 聡	7	2024.10
		士 別	○			
		美 深				
	3	稚 内	○			
		枝幸オホーツク				
		幌 延				



R	Z	クラブ名	クラブ献金	M J F 一括献金		
				MJF献金氏名	MJF回数	拠出年月日
4	3	歌 登	○			
		猿 払	○			
		稚 内 北 斗	○	L. 梅 村 俊 範	14	2025.02
5	1	北 見	○	L. 伊 東 隆 志	6	2024.12
		置 戸				
		遠 軽	○			
		北 見 白 樺	○			
		湧 別	○			
		紋別オホーツク	○			
		白 滝	○			
		佐 呂 間	○			
		東北海道 WEB				
	2	網 走	○	L. 笈 田 壽 一	3	2024.09
		美 幌	○			
		津 別	○	L. 松 平 範 慶	1	2024.09
		北 見 中 央	○	L. 浅 野 敬 一	17	2024.11
				L. 伊 藤 光 隆	6	2024.11
		網 走 桂	○			
		端 野	○	L. 森 谷 幸 弘	3	2024.12

国際会長アワード

国際会長賞



L. 村山 聡
(名寄LC)

リーダーシップ賞



L. 小林 孝彦
(羽幌LC)



L. 佐藤 豪一
(帯広かしわLC)



L. 笈田 壽一
(網走LC)

個人表彰

◆LCIF理事長感謝状《MJF 3口以上》

L.小 森 唯 永（帯広かしわライオンズクラブ）

クラブ表彰

◆LCIF理事長感謝状《会員 1 人あたり 平均300ドル以上寄附クラブ》

帯広かしわライオンズクラブ



ガバナーズアワード

◆ガバナー特別賞

網走ライオンズクラブ

◆グッドスタンディング賞

金賞 美幌ライオンズクラブ

銀賞 羽幌ライオンズクラブ

銀賞 旭川中央ライオンズクラブ

◆アクティビティ賞

金賞 旭川大雪ライオンズクラブ

銀賞 旭川平和ライオンズクラブ

銀賞 網走ライオンズクラブ

銀賞 網走桂ライオンズクラブ

◆青少年育成活動賞

標茶ライオンズクラブ

帯広かしわライオンズクラブ

羽幌ライオンズクラブ

稚内北斗ライオンズクラブ

北見中央ライオンズクラブ

◆情報活動賞

金賞 音更ライオンズクラブ

銀賞 釧路みなとライオンズクラブ

銀賞 帯広中央ライオンズクラブ

◆会員維持増強賞

金賞 釧路みなとライオンズクラブ

金賞 富良野ライオンズクラブ

銀賞 上富良野ライオンズクラブ

銀賞 旭川クリスタルライオンズクラブ

銀賞 遠軽ライオンズクラブ

銀賞 北見中央ライオンズクラブ

◆社会福祉環境活動賞

愛別ライオンズクラブ
釧路ライオンズクラブ
十勝池田ライオンズクラブ
紋別オホーツクライオンズクラブ
端野ライオンズクラブ

◆平和ポスターコンテスト賞

金賞 本別ライオンズクラブ
銀賞 富良野ライオンズクラブ
銀賞 留萌ライオンズクラブ

◆ヘアドネーション特別賞

金賞 北見白樺ライオンズクラブ
銀賞 白滝ライオンズクラブ

◆献血活動賞

金賞 稚内北斗ライオンズクラブ
銀賞 上富良野ライオンズクラブ
銀賞 釧路みなとライオンズクラブ
銀賞 北見白樺ライオンズクラブ
銀賞 留萌みなとライオンズクラブ

◆家族会員活動賞

金賞 稚内ライオンズクラブ



第71回地区年次大会委員長アワード

◆大会登録第1号賞

第1R第1Z 釧路みなとライオンズクラブ

◆大会登録数最多賞

第5R第1Z 北見白樺ライオンズクラブ

◆ライオンパートナー登録数最多賞

第4R第3Z 稚内ライオンズクラブ

◆登録最年長参加賞

第2R第2Z 旭川中央LC L. ^{やました}山下 ^{きよし}潔

1930年（昭和5年）4月25日 95歳

記念アクティビティ

◆三市とライオンズクラブとの災害発生時におけるボランティア活動支援に関する協定

- 北見市 北見ライオンズクラブ
北見中央ライオンズクラブ
北見白樺ライオンズクラブ
端野ライオンズクラブ
- 網走市 網走ライオンズクラブ
- 紋別市 紋別オホーツクライオンズクラブ

2025-2026年度 331-B地区 次期地区ガバナー立候補者経歴紹介



ライオンズクラブ国際協会
331-B地区 第1R 第1Z
釧路みなとライオンズクラブ

おお しま なお ひさ
L. 大 島 尚 久

所 属 331-B地区 第1R 第1Z
釧路みなとライオンズクラブ
生年月日 1956 (S31) 年9月29日 68歳
住 所 釧路市鳥取大通3丁目12-4
現 職 医療法人社団 大島歯科医院 理事長

ライオン歴(年度順)

2010年11月 釧路みなとライオンズクラブ 入会
2013年～2014年 331B地区 レオ・ライオネスクラブ委員長
2014年～2015年 331B地区 レオ・ライオネスクラブ委員長
2016年～2017年 釧路みなとライオンズクラブ第51代会長
2020年～2021年 331-B地区 第1R 第1Z ゾーン・チェアパーソン
2021年～2022年 331複合地区 GST副委員長
2021年～2022年 331-B地区 地区GSTコーディネーター
2022年5月 国際会長アワード リーダーシップ賞
2022年～2023年 331複合地区 次世代リーダーシップ研究会副委員長
2022年～2023年 331-B地区 地区GETコーディネーター
2023年～2024年 331-B地区 第二副地区ガバナー
2023年～2024年 331複合地区 オセアルフォーラム特別委員会副委員長
2024年7月～ 331-B地区 第一副地区ガバナー
2024年7月～ 331複合地区 オセアルフォーラム特別委員会副委員長
2024年9月 メルビン・ジョーンズ・フェロー(7回)

2025-2026年度

331-B地区 次期第一副地区ガバナー立候補者経歴紹介



ライオンズクラブ国際協会
331-B地区 第2R 第2Z
富良野ライオンズクラブ

ひろ せ ひろ と
L. 広 瀬 寛 人

所 属 331-B地区 第2R 第2Z
富良野ライオンズクラブ

生年月日 1963 (S38) 年7月11日 61歳

住 所 富良野市本町2番3号

現 職 株式会社 富良野タクシー 代表取締役

ライオン歴(年度順)

- 2005年3月 富良野ライオンズクラブ 入会
- 2006年～2007年 クラブ理事
- 2007年～2008年 クラブ理事
- 2011年～2012年 クラブ幹事
- 2012年～2013年 331-B地区 キャビネット会計
- 2014年～2015年 クラブ会計
- 2021年～2022年 富良野ライオンズクラブ第60代クラブ会長
- 2022年11月～ 331-B地区 地区GET副コーディネーター
2023年
- 2023年～2024年 クラブ会計
- 2023年～2024年 331-B地区 地区GLTコーディネーター
- 2024年7月～ 331-B地区 第二副地区ガバナー
- 2024年7月～ 331-B地区 長期計画リサーチ委員会 副委員長
- 2024年7月～ 331-B地区 公益財団法人日本ライオンズ特別委員会委員長
- 2024年7月～ 331-B地区 地区GLTコーディネーター
- 2024年9月 メルビン・ジョーンズ・フェロー(6回)

2025-2026年度

331-B地区 次期第二副地区ガバナー立候補者経歴紹介



ライオンズクラブ国際協会
331-B地区 第4R 第1Z
留萌みなとライオンズクラブ

やなぎ さわ ゆたか
L. 柳 澤 豊

所 属 331-B地区 第4R 第1Z
留萌みなとライオンズクラブ

生年月日 1960 (S35) 年3月1日 65歳

住 所 留萌市幸町3丁目1-2

現 職 株式会社 不二水道 代表取締役

ライオン歴(年度順)

2004年10月 留萌みなとライオンズクラブ 入会
2010年～2011年 クラブ幹事
2012年～2013年 留萌みなとライオンズクラブ第49代クラブ会長
2014年～2015年 クラブ会計
2016年～2017年 331-B地区 留萌キャビネット運営委員長
2017年～2019年 331複合地区YCE委員会 委員長
2018年～2019年 留萌みなとライオンズクラブ第55代クラブ会長
2020年～2021年 331-B地区 地区GSTコーディネーター
2021年～2022年 331複合地区アラート委員会 委員
2022年～2023年 331-B地区 地区GMTコーディネーター
2023年～2024年 331-B地区 地区GETコーディネーター
2023年6月～ 公認ガイディング・ライオン
2024年7月～ 331-B地区 第4R 第1Z ゾーン・チェアパーソン
2024年8月 メルビン・ジョーンズ・フェロー(5回)

国際理事候補者経歴書



ライオンズクラブ国際協会
334-E地区 第2R 第3Z
長野みすずライオンズクラブ

に しな りょう ぞう
L. 仁 科 良 三

所 属 334-E地区 第2R 第3Z
長野みすずライオンズクラブ

生年月日 1949 (S24) 年5月9日 75歳

住 所 長野県長野市東和田804-2

現 職 株式会社 ホンダカーズしなの 代表取締役

ライオン歴(年度順)

1979年10月	結成メンバー
1980年4月	クラブ チャーターメンバー
1983～1984年	クラブライオンテーマー
1993～1994年	クラブ幹事
2003～2004年	クラブ2年理事
2008～2009年	クラブ第1副会長
2009～2010年	クラブ会長
2013～2014年	2R 3Z ゾーン・チェアパーソン
2013年12月	公認ガイディング・ライオン認定
2014年7月	長野グリーンシティLC公認ガイディング・ライオン
2014年7月	山ノ内LC優先クラブ公認ガイディング・ライオン
2015～16年	クラブ1年理事
2016～2017年	クラブ2年理事
2017～2018年	第2副地区ガバナー
2017年12月	小布施LC優先指定クラブ公認ガイディング・ライオン
2018～2019年	第1副地区ガバナー
2019～2020年	地区ガバナー
2019年	チャーターモナークシェブロンアワード
2020～2021年	334複合地区ガバナー 協議会議長
2020～2021年	一般社団法人 日本ライオンズ 副理事長
2021～2022年	一般社団法人 日本ライオンズ 理事長
2022～2023年	一般社団法人 日本ライオンズ 前理事長
2023～現在至	一般社団法人 日本ライオンズ 元理事長
2024年11月14日	CID of OSEAL

国際理事候補者経歴書



ライオンズクラブ国際協会
332-A地区 第5R 第1Z
八戸ライオンズクラブ

た な ぶ と も ゆ き
L. 田名部 智 之

所 属 332-A地区 第5R 第1Z
八戸ライオンズクラブ

生年月日 1975 (S50) 年6月2日 49歳

住 所 青森県八戸市石堂2丁目11番21号

現 職 株式会社 田名部組 代表取締役CEO

ライオン歴(年度順)

- 2002年 八戸ライオンズクラブ 入会
- 2004年～2005年 八戸ライオンズクラブ 会計
- 2005年～2006年 八戸ライオンズクラブ 幹事 八戸うみねこLC結成
332-A地区グッドスタンディング大賞(中居会長、佐藤会計)
- 2009年～2010年 332-A地区 視聴覚言語障害者福祉委員長(岡井DG)
- 2010年～2011年 332-A地区 会則付則委員長 兼 副幹事(小松崎DG)
- 2011年～2012年 332-A地区 幹事(中居DG、佐藤会計)
- 2012年～2013年 332-A地区 キャビネット合理化検討委員(外崎DG)
- 2013年～2014年 332-A地区 キャビネット合理化検討委員(小笠原DG)
- 2015年～2016年 八戸ライオンズクラブ 会長(第57代) 三戸LC結成
332-A地区グッドスタンディング大賞(安達幹事、落合会計)
- 2016年～2017年 332-A地区 指導力育成長期計画委員長(柳本DG)
332複合地区年次大会 委員長(柳本CC)
八戸ライオンズクラブ 一年理事(夢キックオフ基金実行委員長)
- 2017年～2018年 八戸ライオンズクラブ 二年理事(会員拡大委員長)
- 2018年～2019年 国際協会 講師育成研究会修了 FDI取得(中国上海2018)
- 2019年～2020年 332-A地区 第二副地区ガバナー・LCIFキャンペーンコーディネーター、
332複合地区GLT副コーディネーター、上級ライオンズリーダーシップ研究会
ALLI修了(名古屋)
- 2020年～2021年 332-A地区 第一副地区ガバナー、332複合地区GMT副コーディネーター
- 2021年～2022年 332-A地区 ガバナー・GATファシリテーター、332複合地区ガバナー協議会副
議長
- 2022年～2023年 332-A地区 前ガバナー・名誉顧問会議議長、332複合地区ガバナー協議会議長、
一般社団法人 日本ライオンズ 副理事長(国際大会・LQ薬物乱用防止 副委員長)
- 2023年～2024年 332複合地区ガバナー協議会前議長、332-A地区常任名誉顧問、PDG
一般社団法人 日本ライオンズ 理事長、IDCエンドース(MD332・D332-A)
- 2024年～ 日本GAT副エリアリーダー、一般社団法人 日本ライオンズ 前理事長、PCC
(一社)日本ライオンズID資格審査委員会IDC承認

〔物故会員ご芳名〕 2024年3月21日～2025年3月31日までの物故者氏名



故 L. 巽 昭
猿払LC
2024年3月25日
享年71歳



故 L. 古川 公晴
北見中央LC
2024年3月26日
享年72歳



故 L. 広瀬 豪
帯広かしわLC
2024年4月1日
享年79歳



故 L. 山下 陸夫
白糠LC
2024年4月8日
享年78歳



故 L. 岡田 健二
根室LC
2024年7月3日
享年92歳



故 L. 田子 正雄
美幌LC
2024年7月12日
享年96歳



故 L. 斉藤 由弘
北見LC
2024年7月19日
享年70歳



故 L. 小田部 元
釧路ゆうやけLC
2024年8月25日
享年54歳



故 L. 井上 忠憲
釧路ゆうやけLC
2024年9月25日
享年74歳



故 L. 山田 道夫
浦幌LC
2024年10月10日
享年84歳



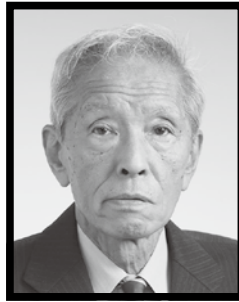
故 L. 下田 悌津夫
名寄LC
2024年10月11日
享年86歳



故 L. 小澤 康之
士別LC
2024年10月19日
享年98歳



故 L. 佐々木 一也
旭川大雪LC
2024年11月1日
享年60歳



故 L. 村井 敏彦
留萌みなとLC
2024年11月28日
享年73歳



故 L. 遠山 晴義
旭川LC
2024年12月21日
享年94歳



故 L. 伊藤 巖
本別LC
2024年12月28日
享年86歳

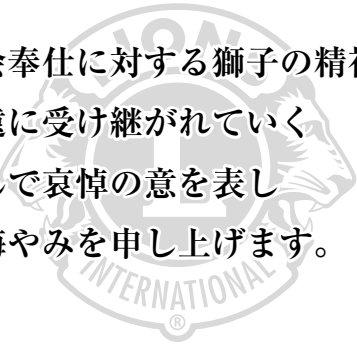


故 L. 辻 輝
比布LC
2025年1月29日
享年81歳



故 L. 堤 進
猿払LC
2025年3月23日
享年81歳

社会奉仕に対する獅子の精神は
永遠に受け継がれていく
謹んで哀悼の意を表し
お悔やみを申し上げます。





大会式典参加者名簿

第1リジョン

第1ゾーン

釧路LC

川 人 正 和
櫻 井 正 人
中 谷 宣 巨
長谷川 伸
藤 井 芳 和
宮 崎 博 好
村 上 直 隆

白糠LC

高 橋 清 美
山 根 政 義

標茶LC

熊 谷 一 行
小野寺 一 史
寛 陽 介
木 下 裕 幸
成 田 勝 利
野 呂 英 二
佐 藤 紀 寿
斉 藤 昇 一
野 竹 信 好
小 林 浩
橘 啓 介

釧路みなとLC

大 島 尚 久
大 島 三 記子
木 村 宏 幸
大 津 幸 三
大 森 一 道
井 田 正 昭
石 田 健 太郎
為 国 克 彦

佐々木 良 吉
武 田 真 使
浅 野 一 弘
浅野目 充
榎 田 欣 也
小 原 修 幸
菅 野 貴 光
神 林 信 平
高 橋 哲 也
谷 口 慶
松 並 正 幸
吉 岡 幸 二
綿 貫 裕 介
舟 山 和 宏
佐 藤 祐 雅子
若 月 聖 美

釧路湿原LC

中 川 大 策
川 田 雄 一
残 間 和 義
渡 部 候 司
秋 元 邦 宏

第2ゾーン

根室LC

足 立 計 昌
猪 口 光 太郎
大 高 喜 弘
河 田 理
島 孝 治
杉 本 美 穂
杉 山 忠 夫
須 藤 隆 一
中 川 大 希
森 岡 繁 之
野 潟 龍 彦

平 野 耕 二
廣 瀬 知 香子

羅臼LC

山 本 勤
松 原 臣
村 山 修 一
宮 腰 實

釧路めさまいLC

青 木 秀 史
阿 部 浩 好
有 田 高 行
久保田 庸 央
品 川 聡 恵
杉 本 隆 英
高 瀬 力
地久間 正 寛
中 井 厚 志
古 谷 龍 彦
前 田 益 夫
村 岡 正 次
山 田 正 昭
竹 谷 久

中標津LC

板 野 哲 身
小 野 弘
長谷川 松 美
渡 邊 千 加志
新 谷 誠 治
松 崎 正 幸
江 口 智 子
杉 本 隆 志
松 並 絵 里
村 上 令
細 谷 俊 輔

森 本 麻 有子

釧路ゆうやけLC

阿 部 将 和
合 林 拓 郎
松 野 史 寛
宮 井 一 之
森 末 一 彦
山 口 光 信

第2リジョン

第1ゾーン

旭川LC

吉 村 雄 治
廣 瀬 勝 薫
笠 木 泰 宏
工 藤 泰 基
黒 川 吾 英
小 山 孝 明
酒 井 正 夫
高 野 紀 博
高 橋 隆 志
八 木 隆 志

旭川大雪LC

片 岡 幸 人
酒 井 崇 徳
万 字 達
成 田 智 裕
猪 股 武
片 岡 宏 文
北 橋 完 浩
木 本 洋 司
近 藤 慶 紀
佐 藤 崑 八
櫻 井 範 行
高 橋 範 行

坪 沼 本 善
浜 岡 隆 一
早 川 克 史
本 田 和 行
松 田 誠 一
水 島 民 裕

旭川平和LC

重 綱 博 美
小 林 英 一
栗 田 和 成
石 川 恵 二
伊 藤 義 夫
上 田 敏 文
大 谷 隆 士
河 上 哲 顕
川 田 吉 兼
工 藤 孝 尾
佐 藤 達 広
白 井 雅 哉
高 橋 人
谷 口 義 聡
中 島 則 張
西 口 雅 也
野 村 忠 弘
星 忠 克
武 蔵 弘 毅
山 中 正 志
荒 木 ゆかり 渡

当麻LC

菊 地 正 修
小 林 善 則
佐 藤 利 博

大会式典参加者名簿

愛別LC

阿木 潔
石田 光幸
中野 進
鉢呂 悟利
堀家 直幸
前佛 秀幸

東川LC

小坂 尚志
小岩 昭市
石澤 昌敏
高橋 昭典

第2ゾーン

旭川中央LC

早川 直久
田縁 憲恭
田中 香織
山下 潔

富良野LC

奥野 裕史
大本 孝行
澁谷 正文
中村 吉明
菊田 和雄
伊賀 裕治
浅田 康詞
上杉 日出男
奥平 勇二
鎌田 和晃
久我 光弘
小林 英樹
小山 芳明
坂本 斉生
櫻庭 弥彦
佐藤 邦治
佐藤 健信

津山 純一
野呂 宏子
橋場 和之
広瀬 寛人
藤野 和紀
水間 英文
安田 光則
木村 哲
津山 美智子
広瀬 久美
太田 琴美

旭川東LC

貝谷 義直
勝山 勉

上富良野LC

久保 拓哉
金子 益三
須山 松治
佐々木 誠也
奥田 哲一
加藤 元一
伊藤 欣治
北川 昭雄
立崎 光儀
山田 キミ子
志賀 和江
吉村 好子

旭川ナナカマドLC

長田 敏幸
高野 達也
菅野 道務
西脇 司
梅田 祐司
小林 大祐
高橋 有司
谷口 孝史
中野 建吉

新田 君子
八幡 達哉
吉田 憩広

旭川クリスタルLC

伊藤 博元
荒井 一弘
藤井 茂男
板井 真吾
越智 裕之

旭川パーチャルLC

村上 秀樹
金澤 剛美
富澤 和樹
青柳 秀大
今富 貴樹
星 英司
秦 幸一
武石 陽久
野村 良涼
岡田 善明
阿部 慎一郎
河上 慎一郎

第3リジョン

第1ゾーン

帯広LC

羽田野 浩利
石邑 義幸
本田 雅弘
前野 光延
木下 政則
豊田 典正
磯部 正博

本別LC

岡田 清治
岡田 忠子
方川 一郎
福家 立雲

福家 尚美
田中 誠一
田中 孝子
藤田 直美
田野 正樹
大和田 収

十勝池田LC

田井 秀吉

音更LC

氏家 宏之
牧野 悟
米谷 信男
石川 清光
大熊 秀之
大塚 宏明
久保 和信
坂井 寛明
常見 喜志雄
野村 登雄
林 郁雄
日向 國廣
牧野 豊伸
松本 光子
宮下 ヨシミ
大柳 和子
米谷 史子

浦幌LC

水澤 一廣
杉江 英雄

豊頃LC

大谷 友則
小笠原 茂人
山保 崇美
植村 有智
廣澤 智子

幕別LC

大上 真一
長谷川 隆照
坂本 登郎
斎藤 悟郎
水野 徳道
足利 誠一
古田 和昭
牧野 純輔
清水 佑苗
笹原 早子
小尾 英子

帯広かしわLC

太田 勲光
貝守 良一
鹿内 淳二
北村 了也
久保田 進永
小森 芳春
坂本 豪一
佐藤 明彦
夏目 規真
番場 秀昭
村瀬 幸人
山口 直次
山本 哲也
山本 和博
横川 和博

第2ゾーン

帯広中央LC

香川 俊雄
大平 俊一
加藤 礼市
上嶋 康秀
佐々木 学
成田 貢之
中原 弘二
渡辺 健二



帯広平原LC

稲 辺 幸 司
伊 藤 敏 端
太 田 好 啓
熊 野 一 男
清 野 芳 明
田 邊 宏 美
田 邊 裕 孟
西 垣 さき枝
西 垣 典 功
松 浦 勝 司
三 浦 修 司
三 谷 暁 夫
矢 吹 定 鎮
安 江 範 鎮

鹿追LC

神 谷 秀 敏
田 村 隆 洋
竹 内 淳 基
梶 原 大 孝
金 子 伸 伸

上士幌LC

中 島 卓 三
中 島 律 子
杉 山 幸 昭
家 常 豊 美
家 常 義 幸
橘 内 伸 四郎
千 葉 与 恵
千 葉 正 彦
浜 名 敏 美
浜 名 里 二
小 堀 雄 吐
宮 内 雅 丸
関 谷 光 子
関 谷 希 蔵
田 中 慶 郎
中 村 哲 郎

中 橋 功 太
早 坂 清 光
工 藤 裕 樹
野 村 和 彦

芽室LC

岡 崎 榮太郎
竹 内 司
竹 内 政 則
小 川 豊
高 橋 義 則
石 場 とよ子
太 田 孝次郎
三 浦 光 也

帯広鈴蘭LC

伊 藤 一 博
竹 内 政 吉
杉 原 義 人
島 田 要
五十嵐 勉
松 浦 巖
上 林 美 香

第4リジョン

第1ゾーン

留萌LC

井 上 孝 也
木 村 文 明
今 野 正 一
佐 藤 功 紀
佐 藤 美 紀

羽幌LC

荒 木 俊 彦
行 町 豪
梅 原 重 雄
岡 部 克 寛
工 藤 正 幸
小 林 孝 彦
今 隆

橋 本 修 司
本 間 武 司
水 上 博

留萌みなとLC

山 田 篤 憲
長 内 敬 裕
宮 下 泰 樹
伊 藤 芳 之
岩 渕 勝 樹
梅 田 三 樹
大 石 昌 明
岡 本 和 彦
工 藤 由美子
小 関 亜 維
坂 野 敏 男
小 路 泰 孝
高 橋 佑 介
田 村 裕 行
永 井 信 則
丹 羽 善 子
原 田 義 幸
東 原 義 廣
柳 澤 豊
益 田 かおり

遠別LC

草 刈 忠 和
吉 政 淳 夫
萩 谷 泰 生
穀 蔵 悦 男
遠 藤 國 秋
吉 田 實 一
佐 藤 光 悟
山 下

増毛LC

細 川 丈 伺
風 間 慶 彦
棚 橋 秀 彦

棚 橋 初 美

第2ゾーン

名寄LC

村 山 聡
松 下 賢 二
明 石 欽 弥
阿 部 潤 司
井 上 幸 人
上 松 直 美
中 川 皇 彦
沖 澤 啓 資
河 本 雄 介
橋 清 光
丹 羽 真由美
堀 江 和 史

士別LC

佐 藤 政 美
阿 部 昭 彦
喜 多 武 直
上 北 利 司
太 田 晃 津雄
金 井 利 夫
川 副 春 幸
北 口 雄 博
佐々木 隆 隆
菅 原 清 則
高 橋 光 夫
中 川 道 司
野 上 研 幸
松ヶ平 哲 春
松 下 義 博
吉 井 正 小
佐 藤 百合

美深LC

長谷川 学
渡 邊 武 男
和 田 健 治
鉢 呂 栄

木 下 広 悠

第3ゾーン

稚内LC

高 木 茂 樹
高 木 由美子
栃 木 綾 子
栃 木 潤 子
菊 地 努
藤 田 隆 明
藤 田 信 子
本 間 修 三
松 岡 巳代子
山 本 秀 一
山 本 和 子
米 本 正 樹
米 本 りね子
中 野 久 美

枝幸オーツクLC

石 橋 美由亀
笹 川 紀 彰
日 詰 賢 一
君ヶ袋 政 行
笹 川 美 架
丸 井 悦 子

幌延LC

宮 本 栄
西 澤 裕 之
松 永 継 男
米 津 隆 範

歌登LC

七 戸 忠 之
秋 川 祥 雄
妻 鳥 道 明

猿払LC

渡 邊 日出男
川 谷 英 夫

大会式典参加者名簿

安 田 正 一
櫻 井 信 之
太 田 俊 章
森 田 豊 昭
安 田 真 紀
永 井 英 俊
山 森 清 志
梁 田 德 雄
中 居 寿 裕
安 田 妙 子

稚内北斗LC

藤 原 回 向
井ノ浦 義 明
鳥 取 広 志
戸 松 厚
柳 浦 政 春
池 田 惠 美 子
伊 坂 雅 行
梅 村 俊 範
宇 田 一 政
岡 谷 繁 勝
佐 藤 堅 司
杉 本 康 治
寺 本 幸 男
德 田 晃 一
永 山 彰 一
橋 本 弘 幸
松 本 孝 二
三 上 聖 行
蓑 谷 克 美
森 江 勝 壹
今 村 光

第5リジョン

第1ゾーン

北見LC

五十嵐 俊 啓
板 垣 浩 司
伊 藤 慎 隆
伊 東 隆 志

伊 東 敏 子
逢 坂 竜 一
今 野 岳 一
岩 崎 雅 人
大 高 靖 誠
河 合 昭 德
小 谷 野 眞 一
近 藤 恵 理
今 野 伯 英 二
笹 島 泰 信
白 川 利 幸
鈴 木 正 末
田 尾 忠 正
高 橋 勝 志
武 田 雅 弘
谷 越 正 則
田 丸 月 香
辻 田 太 郎
刀 鳥 越 金 藏
中 崎 孝 俊
永 田 裕 一
中 野 栄 一
二 宮 恵 子
信 田 直 哉
林 澤 善 幸
藤 田 尚 晋
藤 田 清 士
南 田 兼 吾
山 本 一 士
湯 浅 哲 男
横 畠 年 哉
治

置戸LC

鈴 木 榮 樹
岩 藤 孝 一
石 井 伸 二

遠軽LC

新 田 俊 一
高 橋 省 哉
竹之内 義 文
石 川 信 一
古 澤 喜 作
溝 口 政 行
木 島 浩 基
山 崎 義 典
高 木 俊 史
谷 井 寅 三
白 上 貴 史
井 野 健 三
中 林 秀 和
落 合 正 章
佐 渡 博 夫
吉 川 尚 司
大 田 賀 英

北見白樺LC

三 谷 勝 利
鈴 木 敏 文
岩 村 芳 彦
五十川 真 実
井 村 裕 太
江 岸 利 信
近 江 祥 強
大 西 洋 司
岡 嶋 三 郎
岡 本 文 雄
奥 村 智 亜
檜 原 大 元
狩 野 謙 治
菊 地 健 一
橘 内 厚 八
木 村 哲 也
工 藤 秀 雄
久 保 淳 瞭
熊 谷 淳 史

小 滝 愛 子
小 林 修 治
近 藤 吉 春
坂 本 慶 太
佐々木 茂 之
佐 藤 正 博
佐 藤 浩 一
佐 藤 祐 太
柴 田 直 樹
関 根 正 実
高 田 美 穂
竹 口 祐 司
武 部 新
武 部 勤
田 中 努
中 川 智
橋 本 亨
服 部 俊
服 部 史
藤 澤 夫
丸 尾 隆 宏
矢 萩 大 明
山 中 敏 輔
山 根 勉 春
山 本 泰 正
山 田 拓 郎
山 口 光 浩
白 井 陽 子

湧別LC

脇 坂 敏 夫
関 野 一 良
松 尾 一 夫
寺 田 忠 弘
寺 本 信 市
山 本 秀 光
高 桑 誠
古 川 宏 道

紋別オホーツクLC
井 口 弘 往
石 井 友 也
伊 藤 正 春
大 石 達 也
大 原 崇 義
金 田 靖 男
加 納 信 一
岸 豊 光
坂 口 雅 之
佐々木 薫 夫
神 開 利 弘
鈴 木 敏 正 宏
高 橋 明 基
成 田 佳 陽
松 田 安 春
森 原 正 志
柳 川 善 一
山 辺 哲 也

白滝LC

加 藤 俊 之
長 屋 好 男
今 野 政 壽
奥 山 久 美
奥 山 友 子
梅 原 一 優
矢 木 浩 一
白 土 浩 一

佐呂間LC

高 橋 紀 久
為 広 裕 司
宇 野 利 喜
青 木 康
田 宮 俊 之
中 田 慎 司
井 上 茂 幸
石 塚 大 修



関 東 正 浩
東北海道WEBLC
渡 部 正 尚
今 井 康 曉
上 杉 正 志
大 野 伸 洋
村 口 巖

第2ゾーン

網走LC

立 崎 聡 一
小 堀 剛
三 原 聡
大 庭 春 男
轉 石 洋 輔
前 元 政 芳
南 都 正 弘
笈 田 壽 一
塩 川 顕 児
小 池 雄 幸
新 原 一 郎
寺 中 賢 武
山 崎 友 子
片 山 浩 幸
三 上 典 学
加 藤 典 幸
鎌 田 康 隆
石 井 純 将
吉 藤 雅 也
後 内 秀 昭
山 下 隆 郎
日 部 雅 規
井 戸 浪 治
芳 川 玲 司
石 上 一 喜
井 藤 敏 明
遠 坂 知 之
三 多 山 宏
嘉 田 純 也
古

笹 本 和 秀
長 岡 拓 児
佐 藤 広 基
東 海 林 正 志
福 田 稔
小 田 部 照
齊 藤 隆 司
早 水 誠
吉 田 美 佐
石 寄 啓 緒
山 本 大 吾
松 信 博 介
本 間 博 美

美幌LC

佐 藤 正 明
林 健 二
中 村 友 哉
大 原 功 一
松 村 訓 裕
長 谷 川 美 保
田 村 幸 治
大 野 文 男
古 館 芳 夫
高 倉 宏 明
西 川 利 則
桐 山 国 夫
岡 元 一 実
木 根 一 男
横 山 秀 喜
太 田 和 薫
齋 藤 一 美
佐々木 宏
三 浦 修
白 川 剛
阿 閉 秀 行

津別LC

浅 野 弘 司
石 橋 崇 司
伊 藤 泰 広

鹿 中 順 一
金 一 和 美
佐 野 成 昭
鈴 木 貴 士
田 中 四 郎
土 田 一 晴
土 井 正 行
中 村 光 一
野 口 智 史
樫 平 範 功
松 上 裕 慶
水 上 裕 隆
山 上 裕 靖

北見中央LC

浅 野 敬 一
阿 部 廣 光
新 井 晴 美
飯 坂 達 夫
飯 田 光 守
伊 藤 光 隆
猪 戸 光 晴
岩 村 浩 征
大 野 容 子
大 形 秀 樹
尾 井 信 幸
橋 井 義 明
小 池 夫 潤
島 田 善 治
高 橋 子 一
武 澤 豊 弘
西 脇 本 志
野 橋 田 博
橋 春 崎 和
前 増 子 郁
武 藤 政
森 吉 勝
吉 田 秀 隆

吉 田 守
米 倉 孝 志
米 森 亮 弘
鷺 尾 亮 二
渡 邊 力
河 村 喜 太
齊 藤 豊
松 浦 希 連

網走桂LC

中 山 寿 一
山 崎 フミ 聡
玉 井 フミ 子
折 笠 信 充
山 本 敏 幸
前 田 良 彦
鴻 巢 一 輝
松 木 政 則
山 本 裕 光
下 道 吉 司
土 肥 末 義
大 水 幸 一
桑 原 数 弘
石 川 信 弘
田 中 昌 三
山 本 利 男
酒 井 哲 廣
館 向 正 彰
横 山 桂 也
佐 古 寿 次
中 山 道 尉
萬 城 恭 惠
上 野 藤 宏 裕
内 藤 勝 利
齊 今 拓 明
酒 多 泰 実
後 藤 敦 朋
子

端野LC

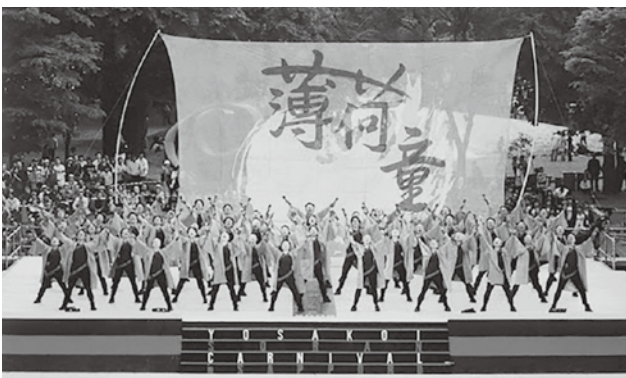
土 山 照 男
岡 村 廉 明
森 谷 幸 弘
小 田 大 典
斉 藤 孝 博
樫 山 敦 史
林 保 茂
藤 田 夫
木 村 則 健
真 田 一 美
渡 辺 栄 治
沼 崎 裕
林 沢 一 德
石 本 惠 治

ライオンズクラブ国際協会331-B地区 第71回地区年次大会 晩餐会プログラム

1. 開 場
2. オープニング…………… 太 鼓 (留 青 太 鼓)
3. 開 会
4. 大会委員長挨拶…………… 大会実行委員長 L. 田 尾 忠 正
5. 地区ガバナー挨拶…………… 地区ガバナー L. 伊 東 隆 志
6. W e S e r v e…………… 地区ガバナーエレクト L.
7. 祝 宴
8. アトラクション…………… よさこい (薄 荷 童 子)
歌謡ショー (おだまりこ)
抽 選 会
9. また会う日まで
10. ライオンズ・ローア… 第一副地区ガバナーエレクト L.
11. 閉 会



留青太鼓 (オープニング)



薄荷童子 (アトラクション)

おだ まりこ LCIFチャリティー歌謡ショー



表紙写真

第4回北見市景観フォトコンテスト応募作品 題名「春の訪れ」
撮影場所「フラワーパラダイス」 撮影者 塩浜 郁夫 氏

ライオンズクラブ国際協会 331-B地区

第71回地区年次大会 大会誌

2025年5月24日発行

発行者 ライオンズクラブ国際協会 331-B地区
第71回地区年次大会
地区ガバナー 伊 東 隆 志
大会委員長 田 尾 忠 正

印刷製本 有限会社 サンケイブリント社

